
八百津町地域公共交通網形成計画

【地区懇談会結果】

平成30年(2018年)11月時点

岐阜県加茂郡八百津町

目 次

1. 実施概要.....	1
--------------	---

2. 結果.....	2
------------	---

（1）八百津地区.....	2
---------------	---

（2）伊岐津志地区.....	3
----------------	---

（3）和知地区.....	4
--------------	---

（4）久田見地区.....	5
---------------	---

（5）福地地区.....	6
--------------	---

（6）潮南地区.....	7
--------------	---

3. 参考資料.....	8
--------------	---

（1）配布資料.....	8
--------------	---

（2）周知	58
-------------	----

1. 実施概要

目的	地区ごとの公共交通の課題と公共交通の維持について地域の意向を把握	
調査対象	町内6地区居住者を対象 広報・町ウェブサイト等で周知 (自治会長には別途案内を送付)	
調査方法	ワークショップ形式	
実施日 会場 参加人数	八百津地区 2018年9月19日 ファミリーセンター(大研修室)	37名(6班)
	伊岐津志地区 2018年9月20日 錦津出張所(2階3部屋)	22名(4班)
	和知地区 2018年9月18日 和知出張所(2階研修室:和室横)	15名(3班)
	久田見地区 2018年9月13日 久田見出張所(2階)	24名(4班)
	福地地区 2018年9月11日 福地出張所(2階和室)	13名(2班)
	潮南地区 2018年9月12日 潮南出張所(1階ホール)	17名(3班)

2. 結果

(1) 八百津地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・バス停の位置や箇所数 ・本数が少ない ・乗り継ぎ・連携が悪い ・目的地に行けない・行きにくい ・バスが通っていない ・ルートの見直し ・タクシーは高い・来てくれない ・時間が合わない ・バスが大きい、乗りにくい ・他都市との接続 ・YAOバスの八百津高校生への依存 ・帰りが不便 ・車のほうが便利 ・荷物があると乗れない ・困ったときはタクシーを利用する ・名鉄の廃線では不便になった ・乗り方がわからない・知らない ・利用者が少ない ・運賃が高い ・事故が不安 ・高齢者・外国人・観光客が使いにくい ・スクールバスが利用できれば良い ・NPO利用しにくい ・バスを使っていたら生活が成り立たない ・自動運転が早く実現してほしい ・タクシー会社が電話で予約された時だけ運行するものを ・アンケートで目的別利用状況はわかりますか？結果がわかれば具体的な意見が出せる ・災害時運休(困る) ・11年間乗車で10回乗り遅れ ・休日に運行していない ・YAOバスの便数が多い。少なくともよい。 ・スクールバスの集合場所まで遠くて親が車で送ってくる(上地区) ・八百津高校生カバー考慮 ・地区で集まって同じ目的地へ(買い物) ・ゴミ出し、生活の中のちょっとしたこと、お手伝い ・出ていくばかりで入ってこない ・地域をはなれ子どものところへ ・小学生の遠足に使うが申請の手間がある ・ワンストップ交通がほしい(物も一緒に) ・バス停の快適感が低い ・車内の快適感が低い	・バスの小型化 ・デマンド化 ・バスのPR ・ルートの見直し ・ダイヤの変更 ・免許返納者や高齢者の優遇 ・運賃の見直し ・スクールバスの活用 ・タクシーの活用 ・運転手の確保 ・行政の補助 ・高齢者への対応 ・手段が多い方がいい ・ウィン・ウィンになるような方法 ・バス定期の販売促進 ・土日の運行 ・月1回のYAOバスツアー ・観光客、外国人、誘客 ・手を上げたら乗れるようにする ・バスを利用して宅配にも利用したら。お客さんと荷物。 ・コミュニティバスは川辺まで行けるから便利 ・近所で一人暮らし乗せて乗り合わせで頼みにくい ・店の方が行く＝店の中で選ぶ楽しみない ・身なりを整えて出かける。若さの維持。 ・外出する楽しみ、会話の楽しみ ・医療機関バス ・ワンストップ交通をやる ・このテーマは年代・性別を問わない ・主体は町民である ・需要と供給の調査。必要な人に必要な交通サービス ・急ぎの時に頼める手段あるとよい	・バスのPR ・ノーカーデーの実施 ・イベントの実施・イベントとのタイアップ ・利用の呼びかけ ・地域での運行や送迎(保険などの課題あり) ・試乗会の実施 ・通学用バス作った。高齢者用作ったらい ・まずは町内を整備 ・人には頼みにくい ・足を運ぶシステム作り ・最低の生活を維持すること ・小学生の遠足に積極的に使う ・自分たちが危機感を持つ

※赤字は複数意見あり

(2) 伊岐津志地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・バス停の位置や箇所数 ・本数が少ない ・乗り継ぎ・連携が悪い ・目的地に行けない・行きにくい ・バスが通っていない ・バス待ちの環境が良くない ・ルートの見直し ・タクシーは高い・来てくれない ・時間が合わない ・バスが大きい、乗りにくい ・他都市との接続 ・YAOバスの八百津高校生への依存 ・帰りが不便 ・車のほうが便利 ・荷物があると乗れない ・困ったときはタクシーを利用する ・名鉄の廃線で不便になった ・YAOバスの料金が安い ・将来的に今の利用者数を維持できるのか ・乗る人が少ない ・切符を買う場所が少ない ・切符の買い方を知らない ・免許返納後に送迎してもらえる人がいない ・身内に頼りづらい ・高齢者 ・名古屋に出るまでに時間がかかる(名鉄電車がある時と比較) ・コミュニティバスが多い。運転手大勢いる。ムダである。 ・ボランティア、人手、お金、難しいかも ・地域では解決することは少ない(できない) ・他地域の利便性のよい機関を利用してしまふ ・町内クリニックは送迎がありそれを利用する ・全く知らない人と一緒に乗らないといけない ・予約制デマンド。2~3人集まらないと走らない。毎回同じ人ではないと、毎回コース変わり時間もバラバラになってしまいます。話好きの人にはいいかも。 ・知人や友人を自分の車に乗せることも心配。保険の問題など事故のあった時など。	・バスの小型化 ・乗降フリー化 ・他市町のバスとの連携やPR ・ルートの見直し(八百津トンネルの活用等) ・バスのPR ・料金の見直しや優遇策 ・廃線を含めた見直し ・デマンド化 ・免許返納者への対応 ・魅力の創出 ・利用促進 ・町の真中に観光バスを停められる場所を作ったらい ・十分な駐車場を確保し、特産品で集客 ・バス停に駐輪場がない ・YAOバスの本数は減らしていい ・高校専用バスを増やし車を少なくする ・スイカみたいなカードがあればいい ・町の補助金で自治会公用の車を ・乗り合い型タクシーの必要性 ・ボランティア、難しい面もある ・バスと電車の乗り継ぎを考える ・ダイヤの見直し ・議員さんにもっと勉強してもら ・町単独の公共交通検索機能端末の開発 ・町独自の取組 ・補助金を増やす	・地域で公共交通について考える ・地域の商店等との協力 ・積極的な利用 ・地域資源の活用やイベントの開催 ・教育での利用 ・地域での運行 ・八百津高校がいつまでも続くこと ・新聞で町議会議員が御嵩町議との協議会どうなったのか。もう少し御嵩町議と接触すべきである ・自転車載せられるバスができないか ・バス停までの簡易な地図を作成(伊岐津志バージョンを) ・町民へ情報収集できる端末を配布してすぐ検索できるように→年配の方でもすぐに使用できるように

※赤字は複数意見あり

(3) 和知地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・本数が少ない ・バス停が遠い ・乗り継ぎ・連携が悪い ・乗り方・料金・時刻などわからない ・目的地に行けない・行きにくい ・バスが通っていない ・バス待ちの環境が良くない ・帰りが不便 ・タクシーは高い・来てくれない ・免許返納した後の移動手段がない。メリットがない ・バスが大きい、乗りにくい ・交通量が多い ・行きたい時間がない ・休日に運行していない ・駅に駐車場がない ・スクールバスの活用 ・保険がないと車に乗せるのは怖い ・NPOは急な用事に対応してもらえない ・不便 ・5～10年後どれくらい便利になるかわからない ・どのくらいの便利さ？ 料金は？ ・多様なニーズに対応できない ・時間がかかる。遠回り ・歩けないけど車には乗れる	・バスの小型化 ・デマンド化 ・他市町のバスとの連携やPR ・停留所を増やす・自宅近くでの乗降 ・料金の見直し ・本数を増やす ・速達性 ・運転手の免許のハードルを下げる ・土日の買い物バス ・明智駅に駐車場を作る ・停留所の整備 ・今使っていない人が使ってもらえるように ・老人が利用した店等を選び、店からの協賛金を求めるかわりにバスを乗り入れる ・バス停と民家をつなぐ小型車を補助金で安く運行し、老人が外出しやすくする ・SNS等を都合のよい時間を調べるサービスがあるとよい ・白タクで運べるように	・地域版の公共交通マップ・時刻表の作成 ・バスの試乗会 ・福祉有償等のあり方の検討 ・利用者増やす ・バス停以外にバスが止まれそうな所を地域でシェアしてそこに集まる ・町内への買い物バスにみんなで乗る ・町内の事業者はバス利用者に割引券を出す ・高齢者(独居)が公共交通を利用しなくてよいように買い物代行を行う ・責任のもとをしっかりと明確にした上で ・生活の一部となるように ・段取りする人がいるといい ・予約制にして乗りたい人がいる時だけ運行する ・観光地・土産物店をつくる(協賛金)

※赤字は複数意見あり

(4) 久田見地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・本数が少ない ・時間が合わない ・バスが大きい ・買い物できない・買い物には不便 ・行きたいところに行けない ・バス停が遠い ・バス待ちの時間・バス待ちの環境が良くない ・時間がかかる ・道が悪い ・荷物があると乗れない ・タクシーは高い・なかなか来ない ・家の前まで来てほしい ・バスのない地区がある ・車のほうが便利 ・時刻表を知らない・利用の仕方がわからない ・人に送迎を頼みづらい・頼めない ・現状で十分 ・病院が迎えに来てくれる ・時刻表小さい ・乗る人数が少ない ・JRとの乗り合わせ ・事故など補償が問題(車で乗せると) ・土日祝日にバスを運行してほしい ・八百津に駅がほしい ・駅が遠い ・将来が不安	・バスの小型化 ・デマンド化 ・料金の見直し ・PR ・スクールバスの活用 ・ルートの見直し ・補助金の投入 ・水素ステーションがあるから水素バスを走らせる ・バスに自転車が載せられると観光が増える ・運転手の給料を下げない ・デイスービスの車を使う。衛生的に ・運転手の確保 ・乗降客の確保 ・乗車率のアップ ・最終時刻を20時までくらいに延長 ・収益を上げる ・荷客混載(食品) ・免許返納後、転換できる利便性を備えていること	・PR ・地域でのボランティア輸送 ・運転手の確保 ・NPOが各地域で協力して運行する ・デマンドが一番(白) ・時刻や行先はPCで見てTELで予約 ・協議会の立ち上げ ・ピアゴ団地で利用(中盛)(休憩場所がある)

※赤字は複数意見あり

(5) 福地地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・バス停までが遠い ・待ち時間が長い ・時間が合わない ・料金が安い ・行き先が合わない ・本数が少ない ・車のほうが便利 ・足の悪い人は使わない ・災害時にバスが止まると外に出れなくなってしまう ・明智駅は待つ所がなく冬は寒い、夏は暑い ・西友からの買い物専用のバスがあるとよい ・バスは荷物が大変 ・子どもの家に泊まって用事を済ませないといけない ・バスは荷物が大変 ・子どもの家に泊まって用事を済ませないといけない ・NPOはタクシーの約半額 ・NPOの車でいい。安い方が○ ・予約制のバスがあればいいな ・近所は高齢者ばかりで、そもそも乗せられる人がいない ・一般が行くとバス・タクシー会社から苦情 ・近所の人でも、もしもの場合を考えると乗せない ・通学は親が下まで送っている	・デマンド化する ・町道を回るなどする ・NPOなどのサービス ・料金の適正化や割引 ・車両の小型化 ・土日の運行 ・乗ること ・八百津まで 喫茶店？ ・無料体験をしてみる。年寄りに体験してもらう。 ・病院のバスをもっと充実して公共交通の代わりにしたらどうか ・便利さをPR ・1年廃止、様子見る ・バスの本数を増やす ・運転手確保	・運転手の確保 ・地域での支援・運行 ・車にかかるお金を公共交通にかける ・どこまでなら出られる？自治会によるが3.4.6は地区公民分館まで ・カーシェアリング

※赤字は複数意見あり

(6) 潮南地区

意見まとめ

テーマ1	テーマ2	
みんなが外出で困っていること	公共交通を維持するために必要なこと	公共交通を維持するため地域で出来ること
・バス停がない・遠い※特に十日神楽 ・本数が少ない ・土日に行っていない ・荷物があると大変 ・バスが大きく細い道を通れない ・病院・買い物等の目的地にあっていない ・バスの時間と合わない ・待ち時間が長い ・通勤・通学で使えない ・飯地線がニーズに合っていない ・送迎が大変 ・タクシーが高い ・免許返納した後の移動手段がない ・乗り継ぎが良くない ・時間がかかる ・車のほうが便利 ・天候(大雨・積雪時)の移動 ・目的地が複数だと不便 ・明智駅が不便。可児駅まで ・シャトルタクシーかも。タクシー目的地まで連れていってもらえない ・呼んだ時に来てもらえる形式がベター ・1日に何度も八百津まで行く	・車両の小型化 ・デマンド運行 ・ルートを増やす・自由度を高める ・ドア・ツー・ドア、自宅近くで乗れるようにする ・バス停までの足の確保 ・バスのPRや情報提供 ・ダイヤの変更 ・人件費の削減 ・観光での利用 ・スクールバス・福祉運送の活用 ・路線の廃止 ・料金を下げる ・可児駅までの路線設定 ・バスの体験ツアー ・住民の意見を聞く ・自転車を積載できるようにする ・貨客混載	・地域でダイヤやルートを検討する ・地域で運行する ・地域で運転手を確保する ・バス停までのボランティア輸送(IT活用したマッチング) ・利用の呼びかけ ・地域の助け合い ・企業等と提携して特典をつける ・スクールバスを上手に利用 ・決まった時間のバスはいらない

※赤字は複数意見あり

3. 参考資料
（１）配布資料
１）全体版

八百津町の公共交通を考える 地区懇談会

2018年9月

1

本日の内容

- （１）あいさつ (5分)
- （２）公共交通を取り巻く現状について (15分)
- （３）ワークショップ (60分)
2テーマ
- （４）発表 (3分×グループ数)
- （５）今後の予定 (5分)

2

公共交通を取り巻く 現状について

3

地区懇談会（ワークショップ）の目的

- ・八百津町の公共交通を維持・改善していく計画をつくるため、地域のことを一番知っているみなさんに、今後の地域の公共交通の課題を積極的に考えていただきたい。
- ・公共交通を維持するためには、地域・交通事業者・行政がそれぞれの役割をはたしていく必要がある。そこで、公共交通の維持について地域でできることについて考えていただきたい。



4

公共交通とは、鉄道、バス、タクシーなど、広く一般の方が利用する交通機関のことです。



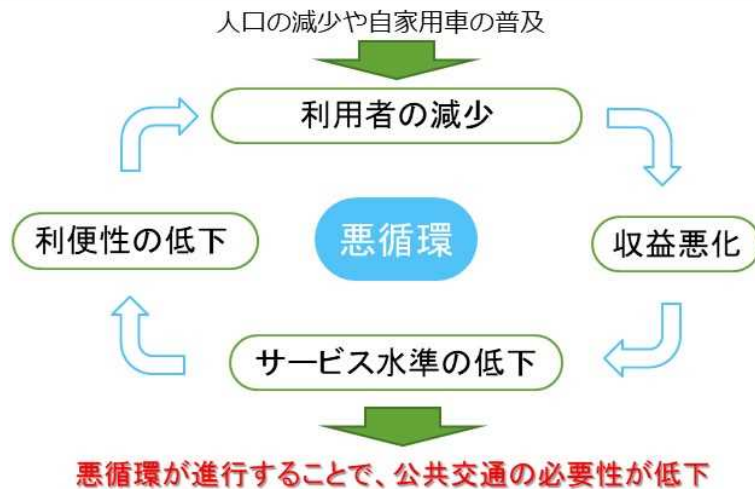
□バス利用者数と運行経費

コミュニティバス802



負担金
約4,600円/人

公共交通の悪循環



●悪循環を断ち切るためには

住民、交通事業者、町がそれぞれが、意見や知恵を出し合いながら**協力**することで、持続可能な公共交通を目指すことが重要です。

7

今回の検討テーマ

公共交通について、みんなが利用しやすく、将来に渡って公共交通が維持できるようにするためにはどうしたらよいかを考える

①みんなが外出で困っていることを考えよう！

【様々な目的で外出する時に、公共交通を利用した場合を想定して、どのような問題・課題があるかを考える】

②公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

【今後も地域の移動の足となる公共交通を維持していくために、①の課題を踏まえて必要なことと、地域(自分)で何ができるのか考える】

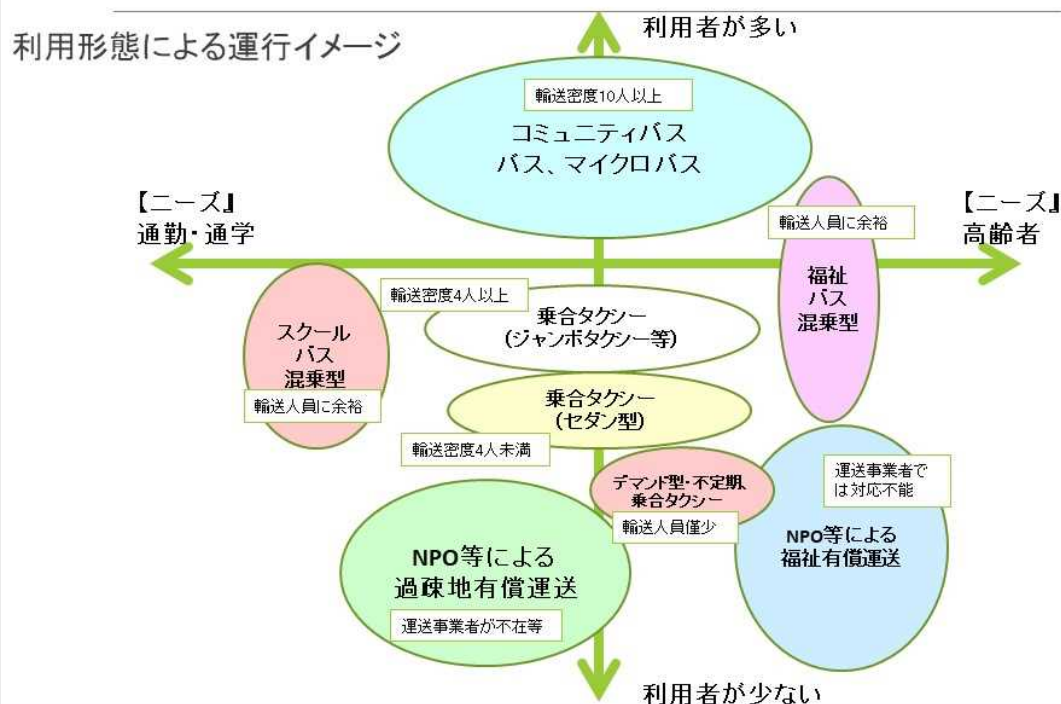
8

地域公共交通の種類



9

地域公共交通の種類



10

各種調査の実施

□各種調査について

- 町民アンケート調査【実施済(6/18～7/5)】
- 利用実態調査(OD調査、利用者アンケート調査)
【実施済(平日6/28、休日6/30)】
- 八百津高校生アンケート調査【実施済(7/12)】
- 観光来訪者アンケート調査【実施済(7/15～8/20)】
- 関係機関ヒアリング調査【実施済(7/12～8/20)】
- 地区懇談会(6地区別)【9/11(福地) 12(潮南) 13(久田見)
18(和知) 19(八百津) 20(伊岐津志)】

2) 地区別版

① 八百津地区

公共交通を取り巻く 現状について (八百津地区の現状)

1

八百津町の現状

□人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



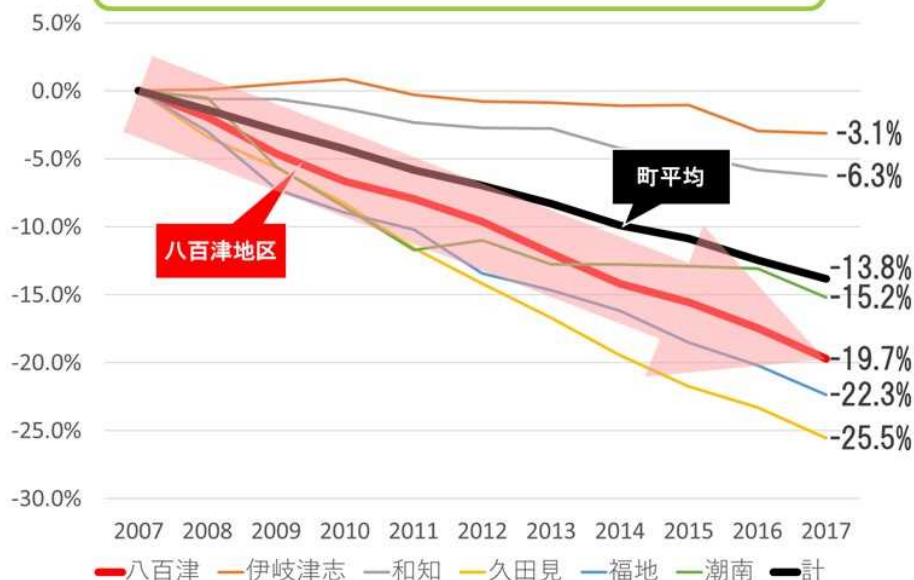
30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

八百津地区の現状

人口

八百津地区は町平均より人口が大きく減少している

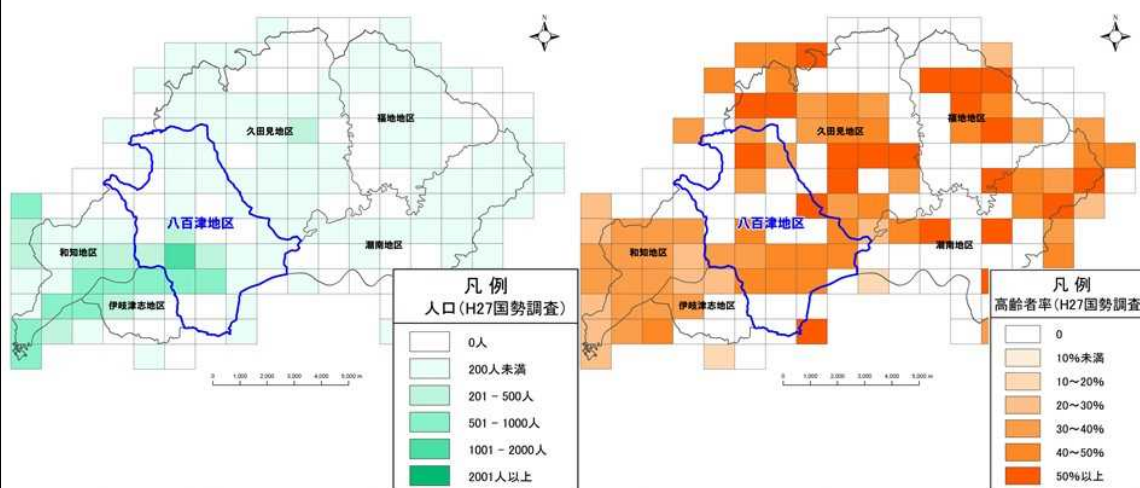


3

八百津地区の現状

人口

中心部は人口密度が高いが周辺は低く、高齢化率も高い



⇒公共交通を維持・確保していくため、みんなで知恵を出し合うことが必要

4

地区の公共交通

八百津町ファミリーセンター前がバス拠点となっており
ほとんどのバスが接続している



5

地区の公共交通

コミュニティバス802(湘南・上飯田線)【平日4往復8便】

篠原発	6:16	ピアゴ川辺店発	7:42
篠原発	8:51	八百津FC発	10:56
篠原発	11:40	ピアゴ川辺店発	14:03
篠原発	15:12	八百津FC発	17:30

コミュニティバス802(福地・柚沢・上飯田線)【平日4往復8便】

下落合発	6:15	八百津FC発	7:05
下落合発	7:55	ピアゴ川辺店発	10:55
下落合発	12:10	八百津FC発	14:50
下落合発	15:40	ピアゴ川辺店発	17:10

コミュニティバス802(北山・久田見線)【平日4往復8便】

白鬚神社発	6:20	八百津FC発	8:40
白鬚神社発	9:35	八百津FC発	11:45
白鬚神社発	12:25	八百津FC発	15:05
白鬚神社発	16:00	八百津FC発	17:30

東鉄バス(八百津線・可児駅系統)【平日1往復2便】

可児駅前発	14:00	八百津FC発	9:10
-------	-------	--------	------

東鉄バス(八百津線・美濃太田系統)【平日6往復12便】

美濃太田発	7:45	八百津FC発	7:05
※八百津高校行き			
美濃太田発	9:40	八百津FC発	8:55
美濃太田発	11:05	八百津FC発	10:25
美濃太田発	13:00	八百津FC発	12:10
美濃太田発	15:20	八百津FC発	14:10
美濃太田発	17:30	八百津高校前発	15:50

※休日は3往復6便

YAOバス【平日21往復42便】

明智駅発	6:55	八百津FC前発	6:02
※八百津高校行き			
明智駅発	7:13	八百津FC前発	6:40
明智駅発	7:45	八百津FC前発	7:10
明智駅発	8:01	八百津FC前発	7:25
※八百津高校直通			
明智駅発	8:33	八百津FC前発	8:00
明智駅発	8:51	八百津FC前発	8:20
明智駅発	10:04	八百津FC前発	9:34
明智駅発	11:51	八百津FC前発	10:38
明智駅発	12:51	八百津FC前発	11:38
明智駅発	13:21	八百津FC前発	12:38
明智駅発	14:21	八百津FC前発	13:38
明智駅発	15:21	八百津FC前発	14:38
明智駅発	15:51	八百津FC前発	15:21
明智駅発	16:21	八百津FC前発	15:51
明智駅発	16:51	八百津FC前発	16:20
明智駅発	17:21	八百津FC前発	16:49
明智駅発	17:51	八百津FC前発	17:20
明智駅発	18:21	八百津FC前発	17:51
明智駅発	19:21	八百津FC前発	18:51
明智駅発	20:21	八百津FC前発	19:51
明智駅発	21:21	八百津FC前発	20:51

※休日は17往復34便

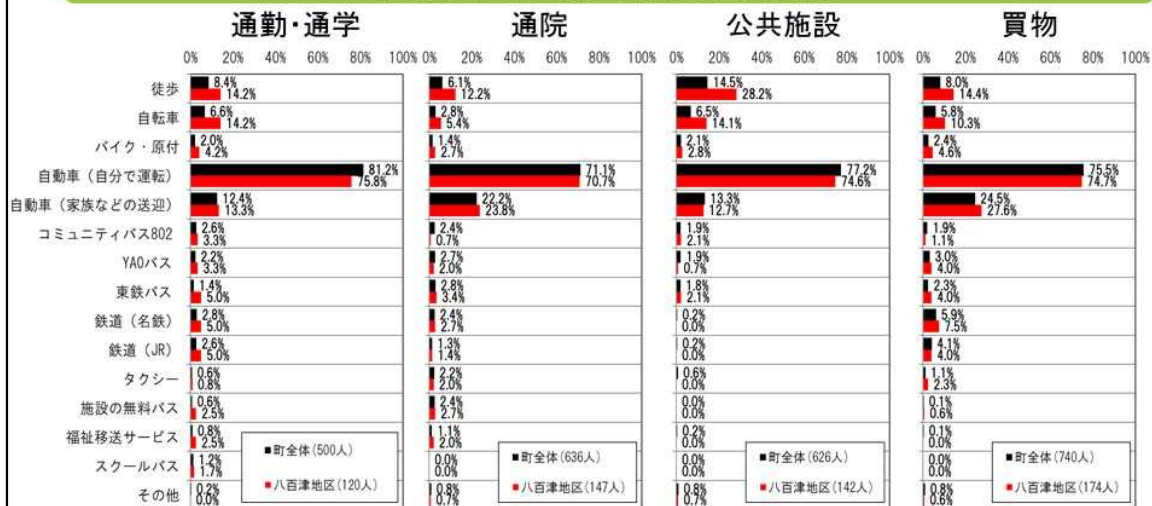
6

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【交通手段】

いずれの目的でも自動車（自分で運転）が70%以上

通勤でのバス・鉄道の利用が他より多い



⇒公共交通を使ってもらうには？

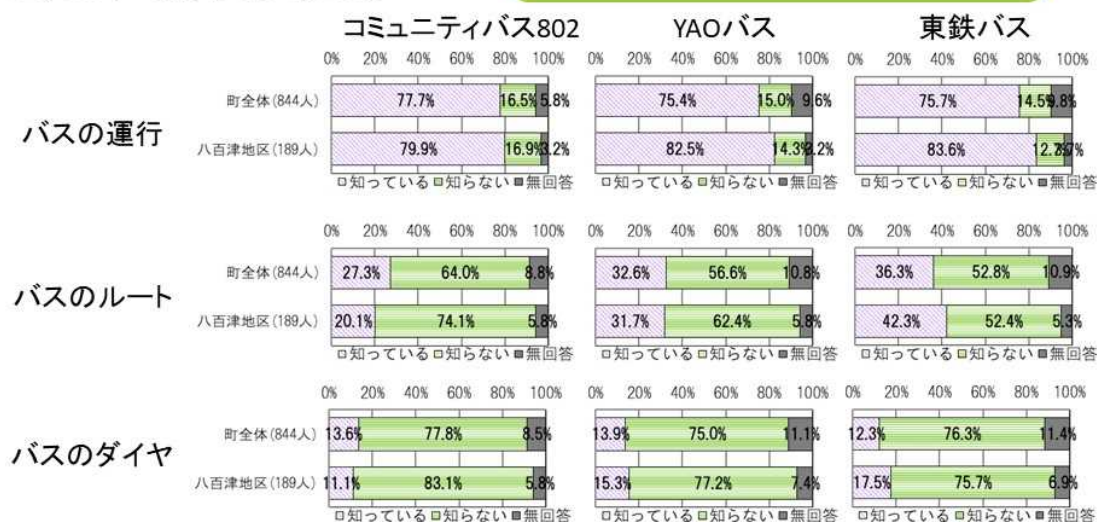
7

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



公共交通を知ってもらうには？

8

移動実態及びニーズの把握結果

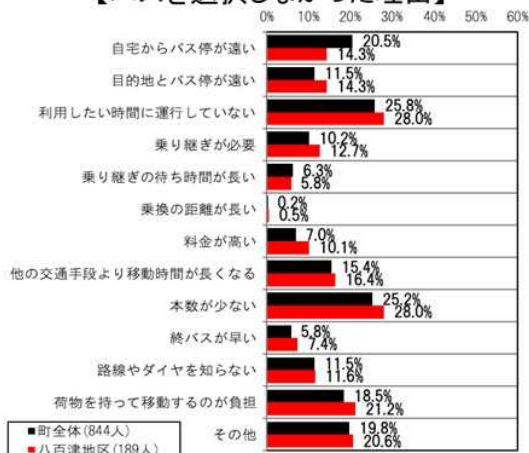
□町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「他に手段がない」「バス停が近い」が多く
選択しない理由は「利用したい時間がない」「本数が少ない」「荷物がある」が多い

【バスを選択した理由】



【バスを選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

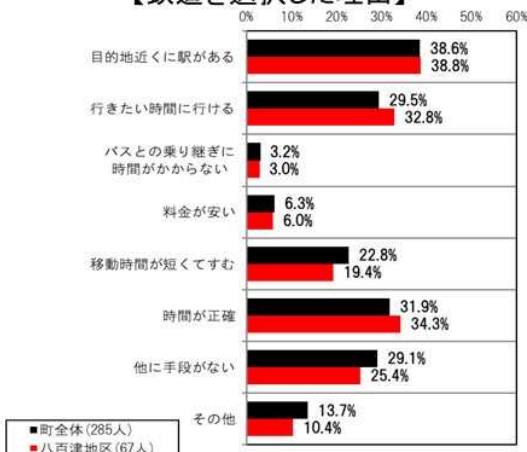
9

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

鉄道を選択する理由は「目的地近くに駅がある」「時間が正確」が多く
選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

10

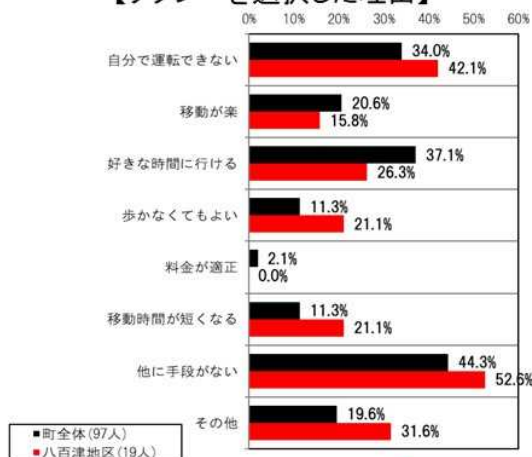
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

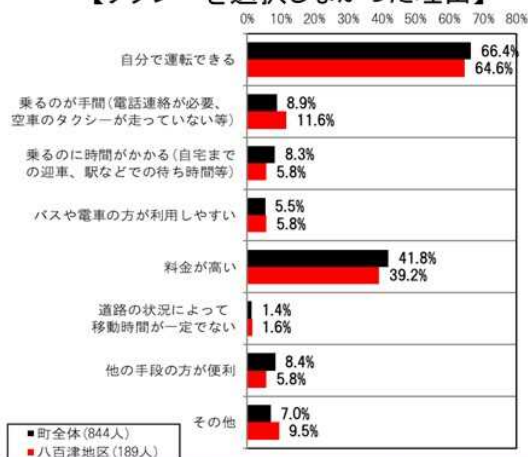
タクシーを選択する理由は「他に手段がない」「自分で運転できない」が多く

選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が安い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



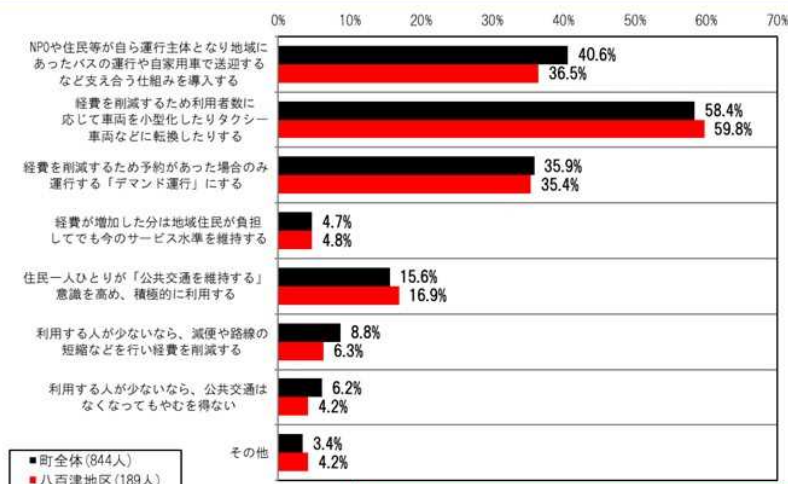
公共交通が利用されるために必要なことは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

最も利用者が多いのはYAOバス 少ないのは東鉄バス八百津線可児駅系統

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地杣沢上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
計		459	91

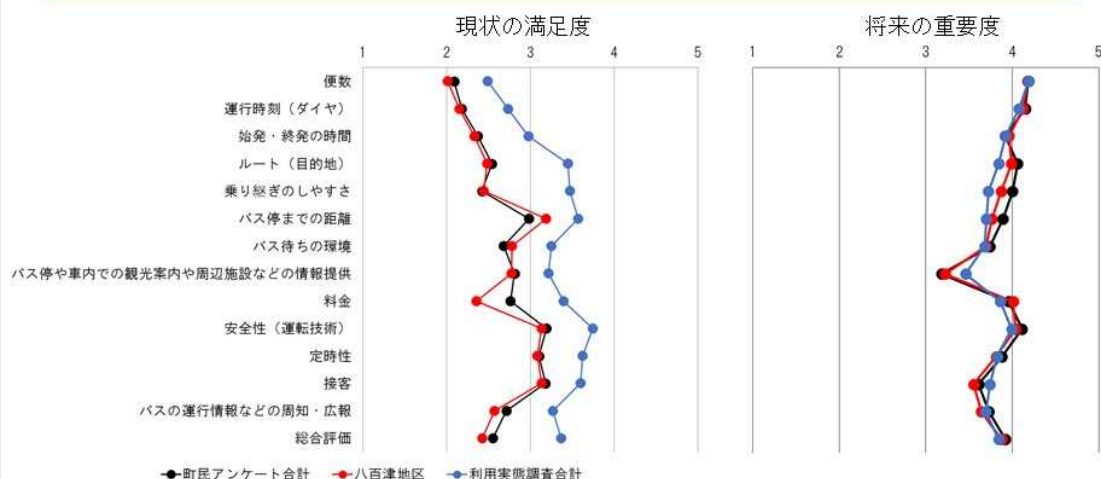
利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

13

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い
重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

14

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

② 伊岐津志地区

公共交通を取り巻く 現状について (伊岐津志地区の現状)

1

八百津町の現状

□人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



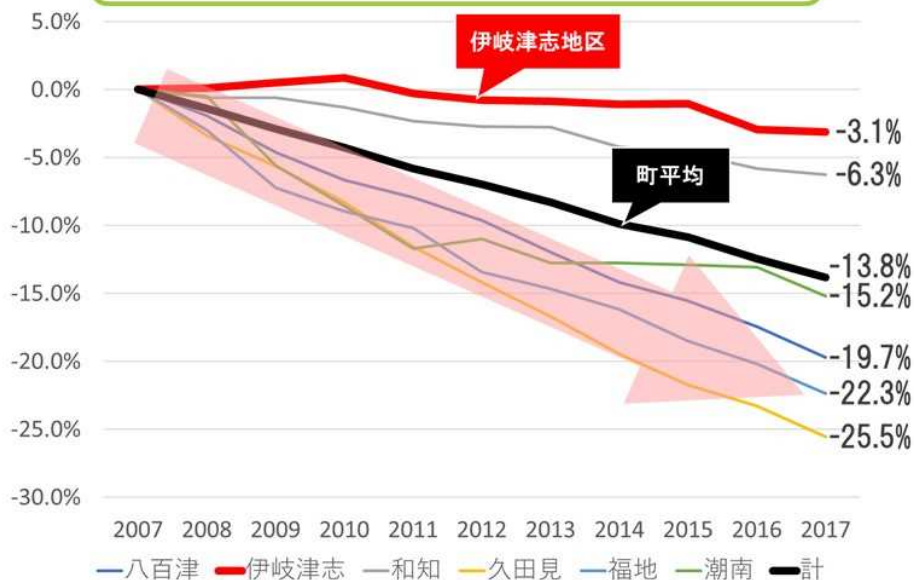
30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

伊岐津志地区の現状

人口

伊岐津志地区は町内で最も減少率は小さい

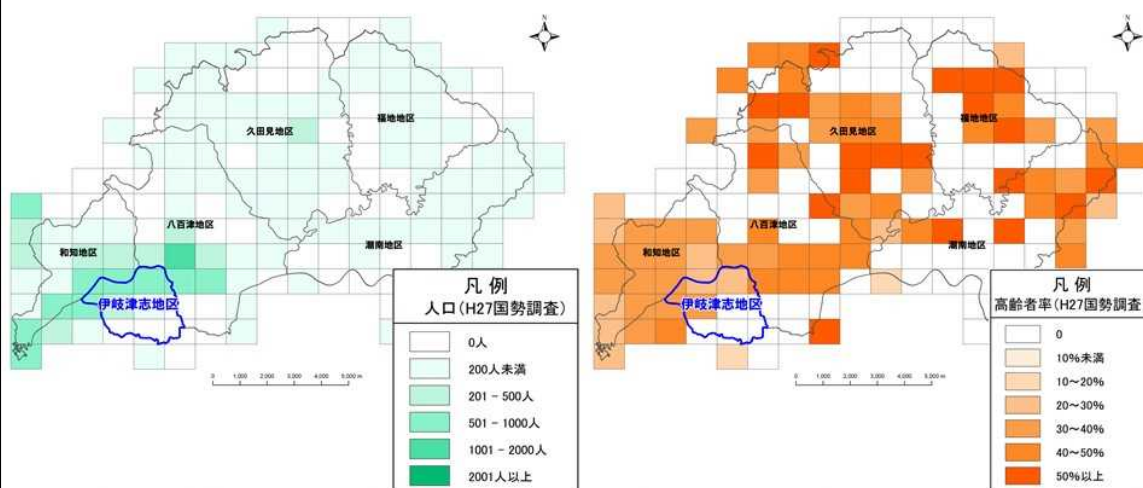


3

伊岐津志地区の現状

人口

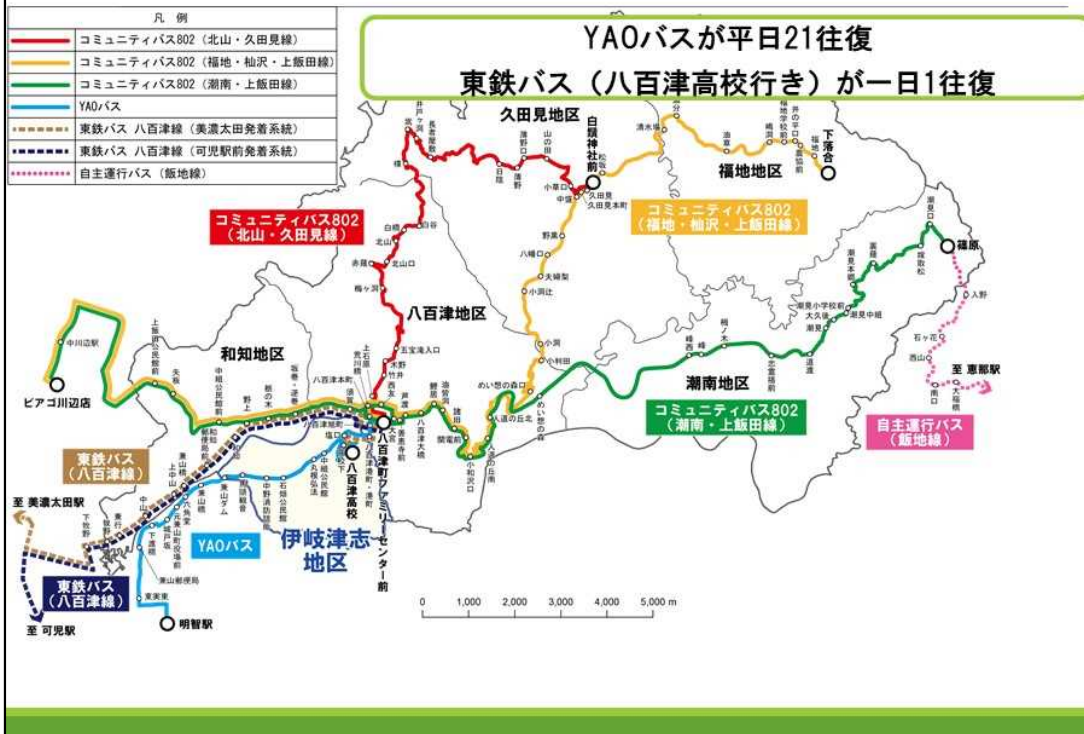
他地区に比べると人口密度は高く、高齢化率は低い



⇒公共交通を維持・確保していくため、みんなで知恵を出し合うことが必要

4

地区の公共交通



5

地区の公共交通

東鉄バス(八百津線・美濃太田系統)【平日6往復12便】

美濃太田発	7:45	八百津FC発	7:05
※八百津高校行き			
美濃太田発	9:40	八百津FC発	8:55
美濃太田発	11:05	八百津FC発	10:25
美濃太田発	13:00	八百津FC発	12:10
美濃太田発	15:20	八百津FC発	14:10
美濃太田発	17:30	八百津高校前発	15:50

※休日は3往復6便となるが、地区内を通過する便はない

YAOバス【平日21往復42便】

明智駅発	6:55	八百津FC前発	6:02
※八百津高校行き			
明智駅発	7:13	八百津FC前発	6:40
明智駅発	7:45	八百津FC前発	7:10
明智駅発	8:01	八百津FC前発	7:25
※八百津高校直通			
明智駅発	8:33	八百津FC前発	8:00
明智駅発	8:51	八百津FC前発	8:20
明智駅発	10:04	八百津FC前発	9:34
明智駅発	11:51	八百津FC前発	10:38
明智駅発	12:51	八百津FC前発	11:38
明智駅発	13:21	八百津FC前発	12:38
明智駅発	14:21	八百津FC前発	13:38
明智駅発	15:21	八百津FC前発	14:38
明智駅発	15:51	八百津FC前発	15:21
明智駅発	16:21	八百津FC前発	15:51
明智駅発	16:51	八百津高校発	16:20
明智駅発	17:21	八百津FC前発	16:49
明智駅発	17:51	八百津高校発	17:20
明智駅発	18:21	八百津FC前発	17:51
明智駅発	19:21	八百津FC前発	18:51
明智駅発	20:21	八百津FC前発	19:51
明智駅発	21:21	八百津FC前発	20:51

※休日は17往復34便

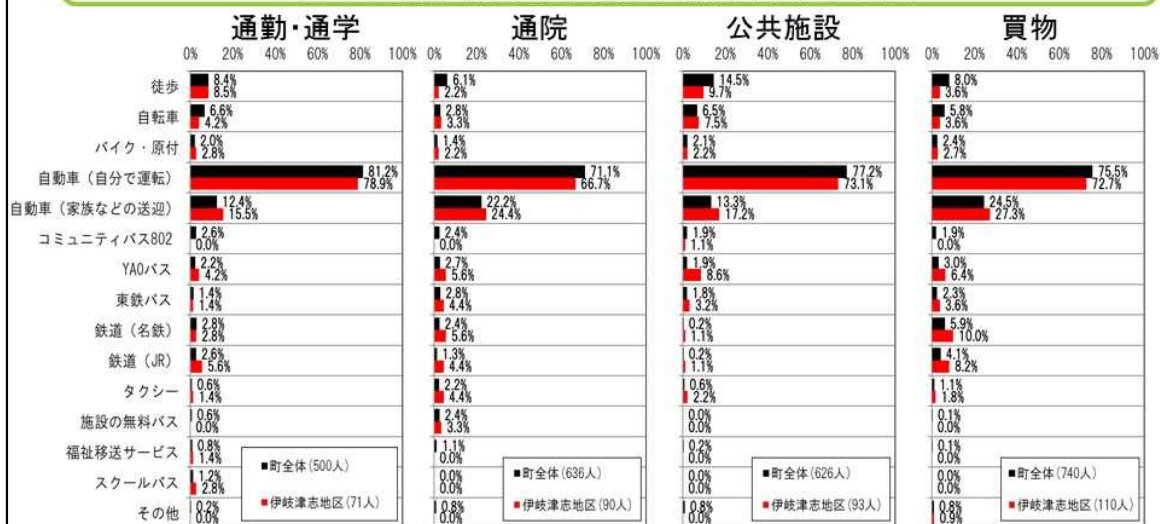
6

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【交通手段】

いずれの目的でも自動車（自分で運転）が多いが割合は他地区より低い

YAOバスや鉄道などの公共交通の利用が他地区より多い



⇒公共交通を使ってもらうには？

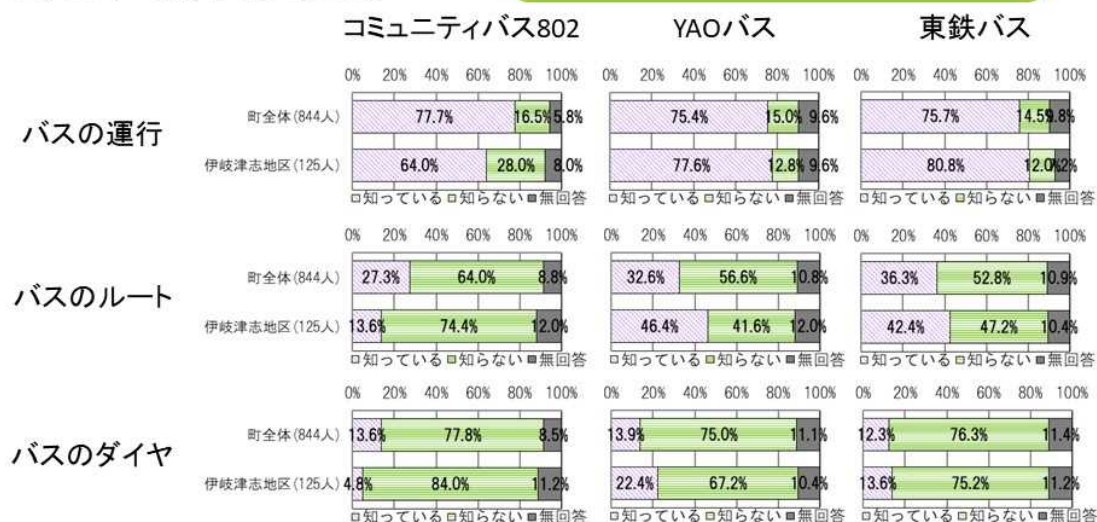
7

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



公共交通を知ってもらうには？

8

移動実態及びニーズの把握結果

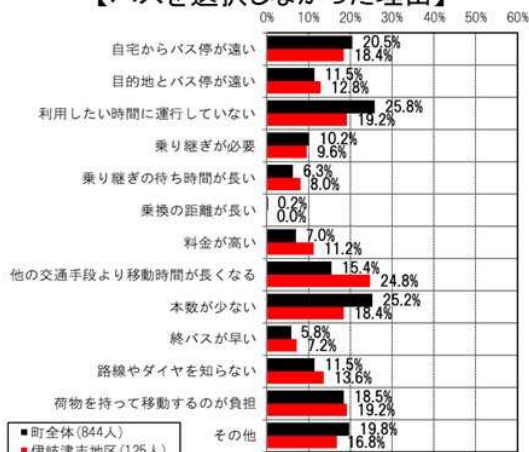
□町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「バス停が近い」「他に手段がない」が多く
 選択しない理由は「移動時間が長くなる」「利用したい時間がない」が多い

【バスを選択した理由】



【バスを選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

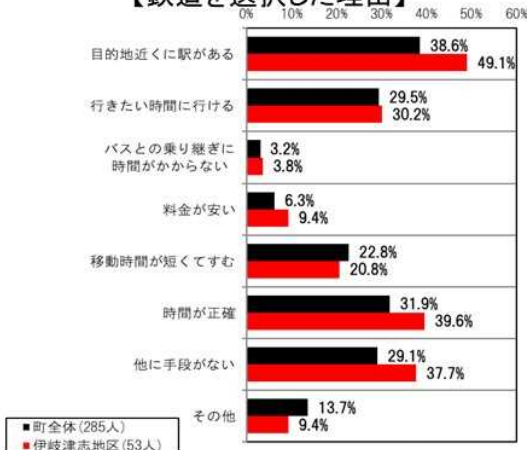
9

移動実態及びニーズの把握結果

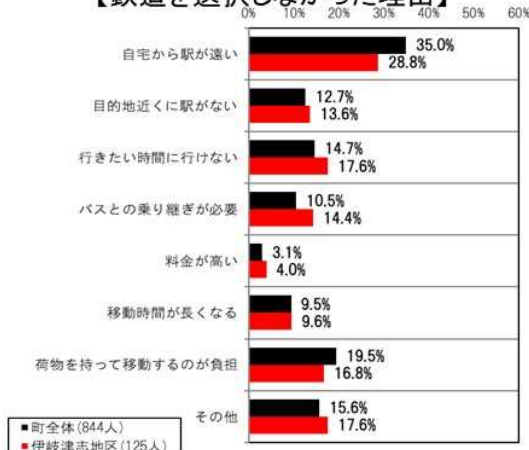
□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

鉄道を選択する理由は「目的地近くに駅がある」「時間が正確」が多く
 選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

10

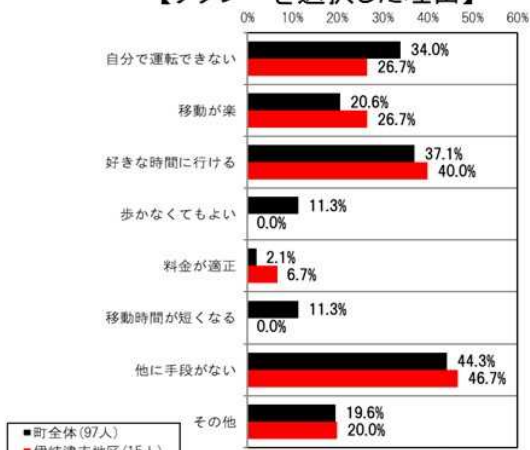
移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

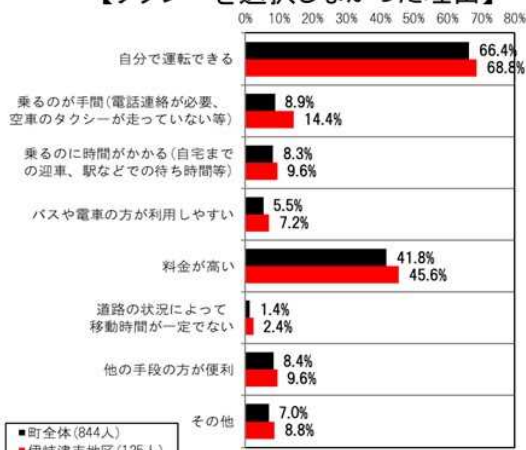
タクシーを選択する理由は「他に手段がない」「好きな時間に行ける」が多く

選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が安い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



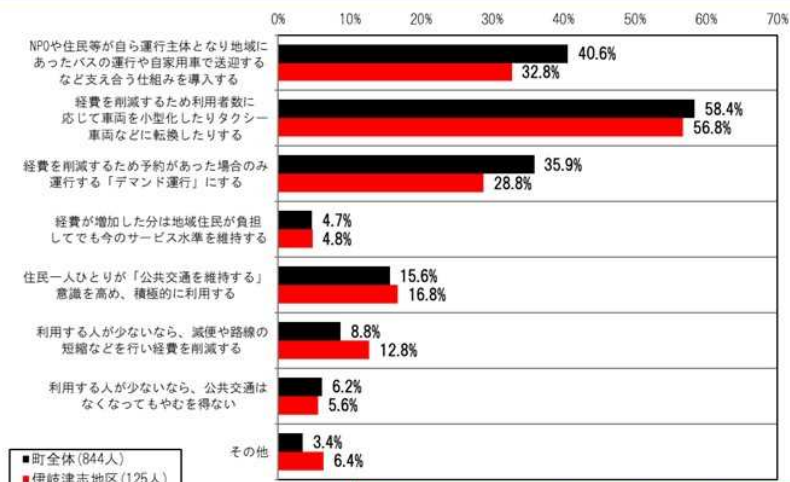
公共交通が利用されるために必要なことは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

コミュニティバスの福地杣沢上飯田線は一日25人の利用にとどまる

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地杣沢上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
	計	459	91

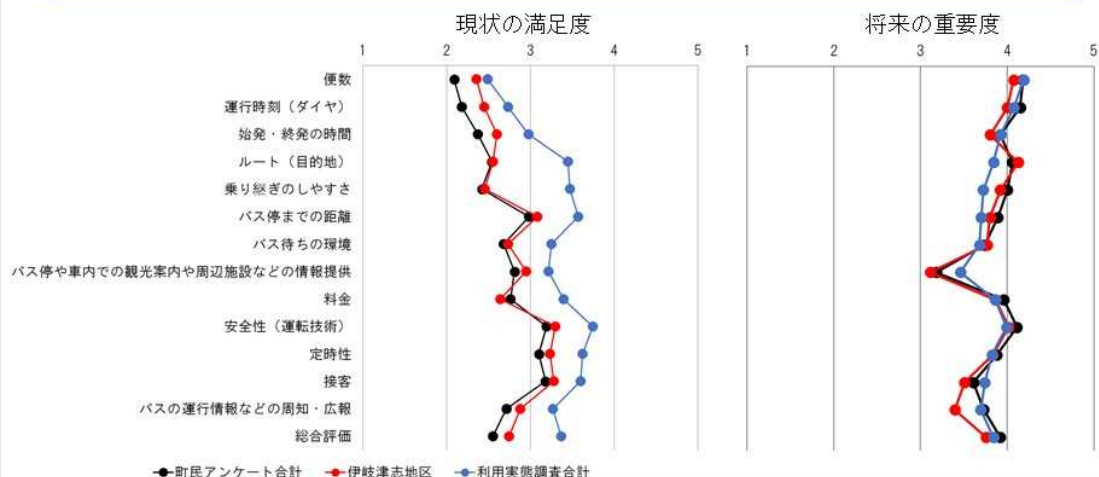
利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

13

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い
重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

14

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

③ 和知地区

公共交通を取り巻く 現状について (和知地区の現状)

1

八百津町の現状

□人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

和知地区の現状

人口

和知地区は町平均より少ないものの人口が減少

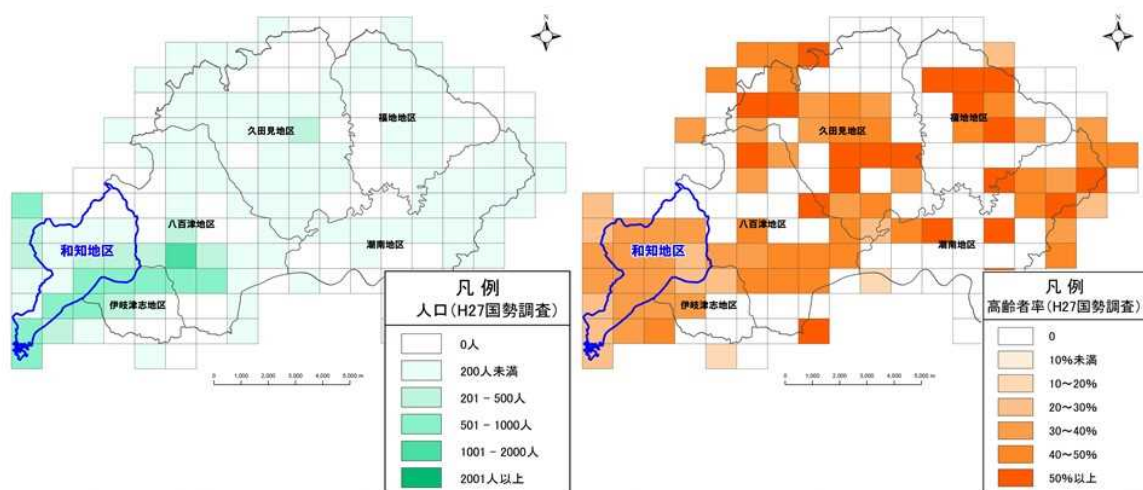


3

和知地区の現状

人口

他地区よりは人口密度が高く、高齢化率も低い



⇒公共交通を維持・確保していくため、みんなで知恵を出し合うことが必要

4

地区の公共交通

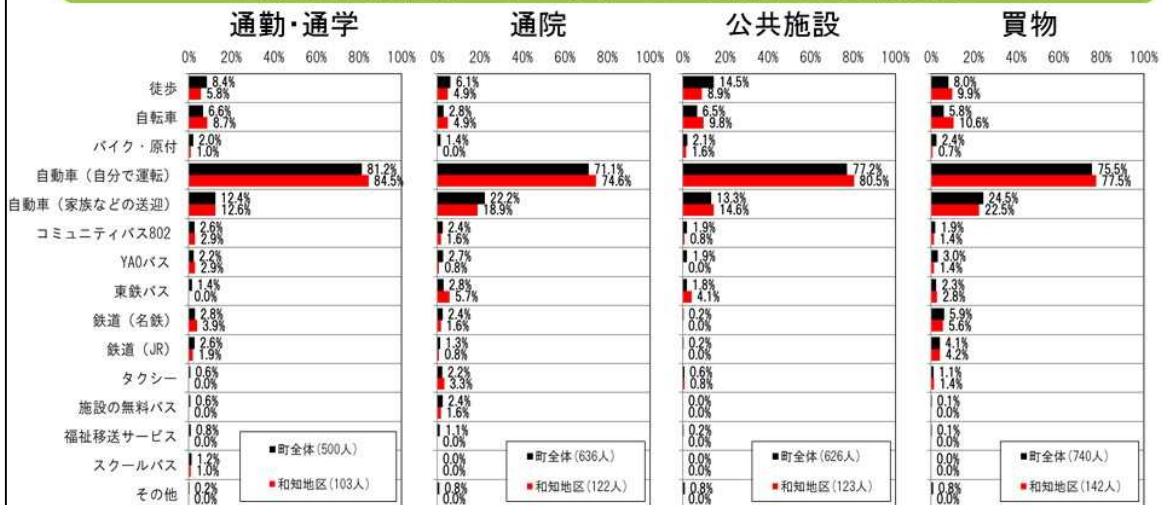


移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【交通手段】

いずれの目的でも自動車（自分で運転）が70%以上。

通勤・通学以外ではコミュニティバスより東鉄バスの利用が多い



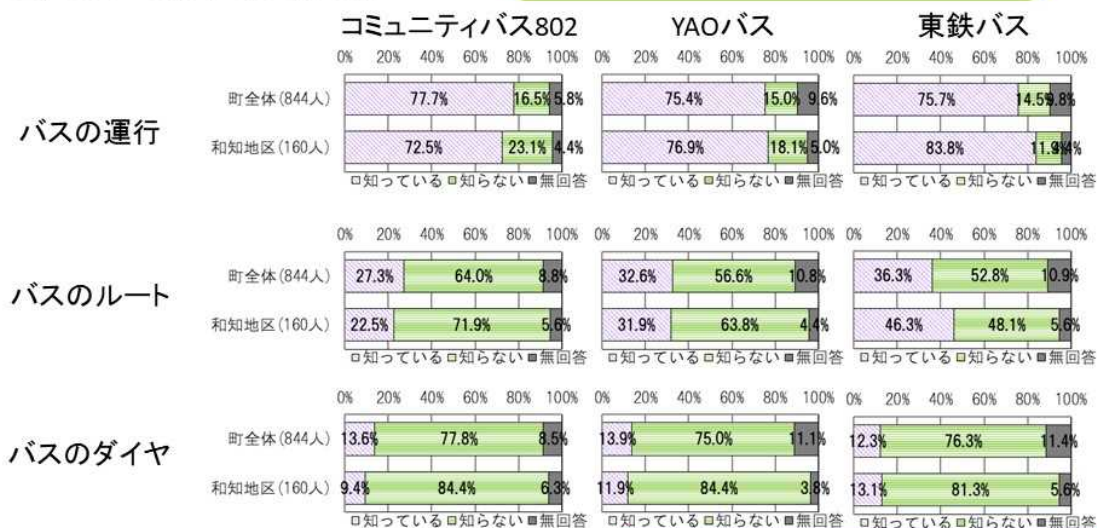
⇒公共交通を使ってもらえるようになるには？

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



公共交通を知ってもらうには？

7

移動実態及びニーズの把握結果

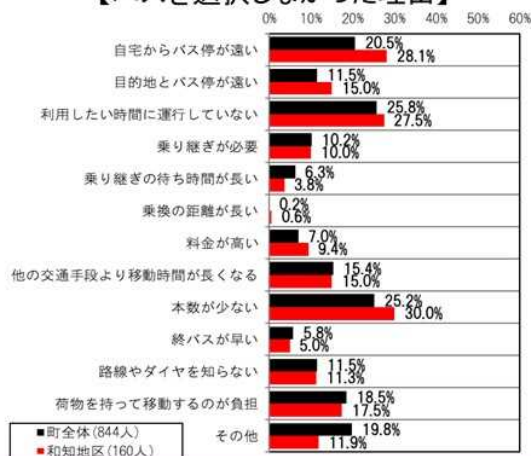
町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「バス停が近い」「他に手段がない」が多く
 選択しない理由は「本数が少ない」「バス停が遠い」「利用したい時間がない」が多い

【バスを選択した理由】



【バスを選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

8

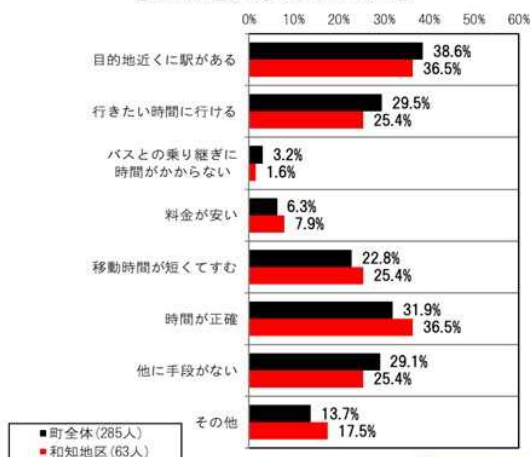
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

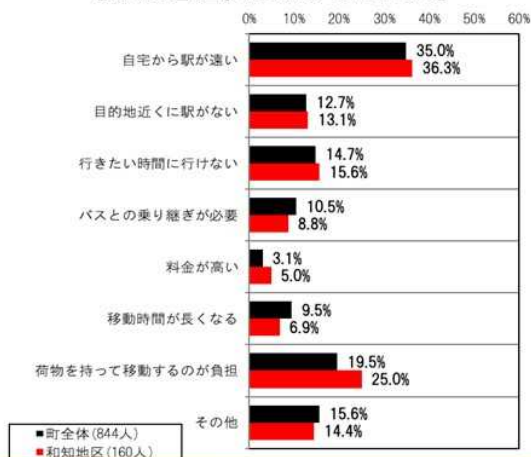
鉄道を選択する理由は「目的地近くに駅がある」「時間が正確」が多く

選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

9

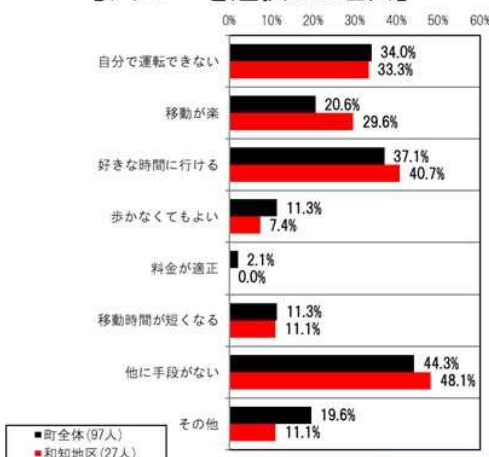
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

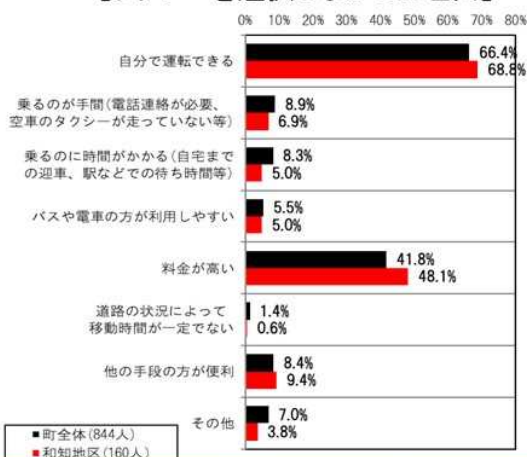
タクシーを選択する理由は「他に手段がない」「好きな時間に行ける」が多く

選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が低い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



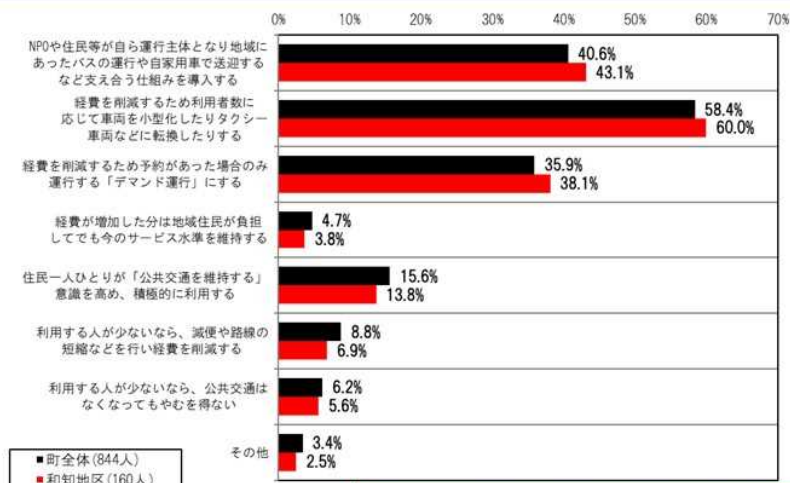
公共交通が利用されるために必要なことは？

10

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

東鉄バス八百津線美濃太田系統が最も多く、可児駅系統が最も少ない

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地杣沢上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
計		459	91

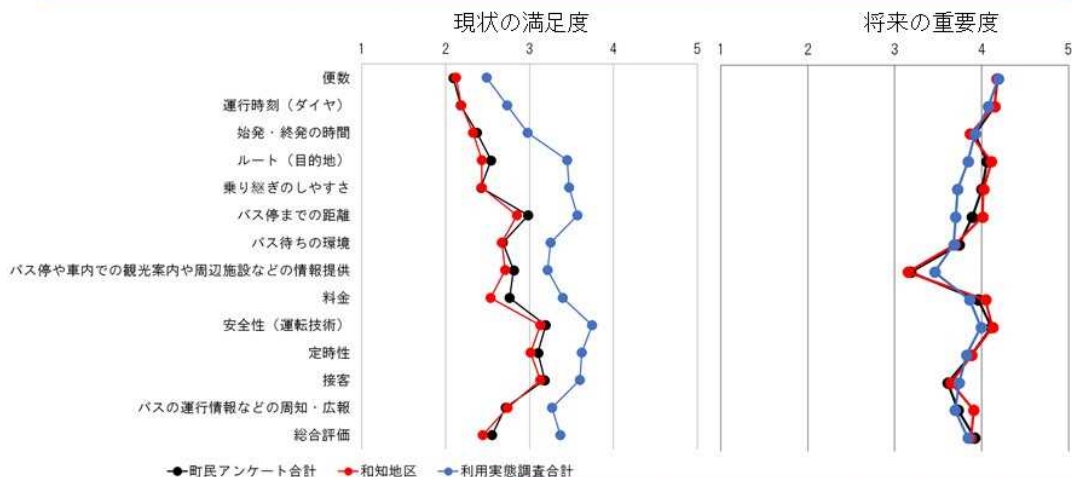
利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い
重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

13

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

14

④ 久田見地区

公共交通を取り巻く 現状について (久田見地区の現状)

1

八百津町の現状

人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



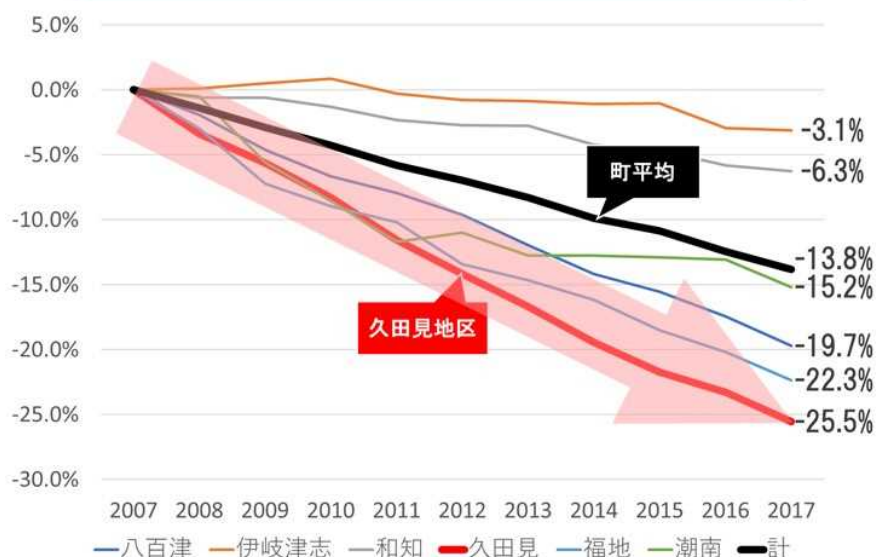
30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

久田見地区の現状

□人口

久田見地区は町内で最も人口が減少している

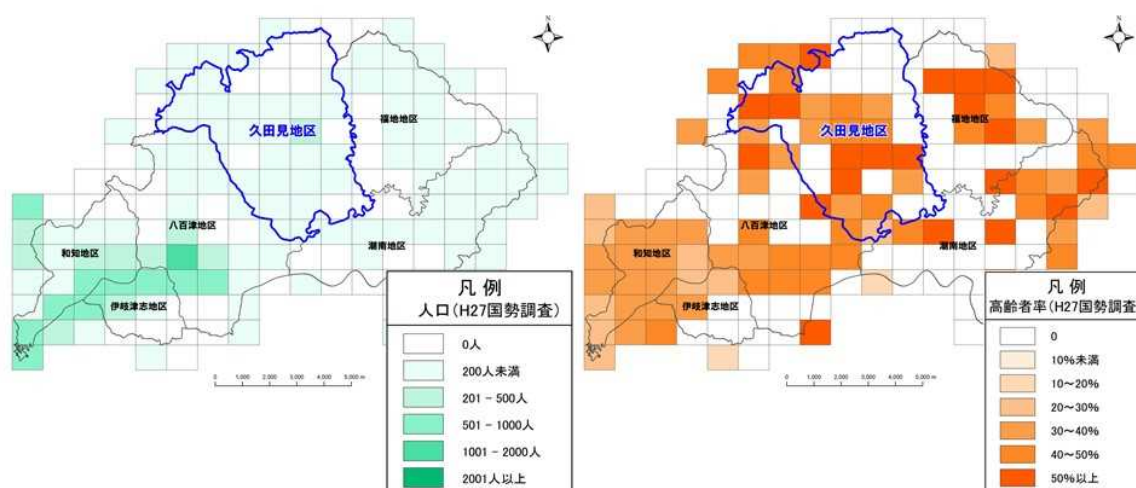


3

久田見地区の現状

□人口

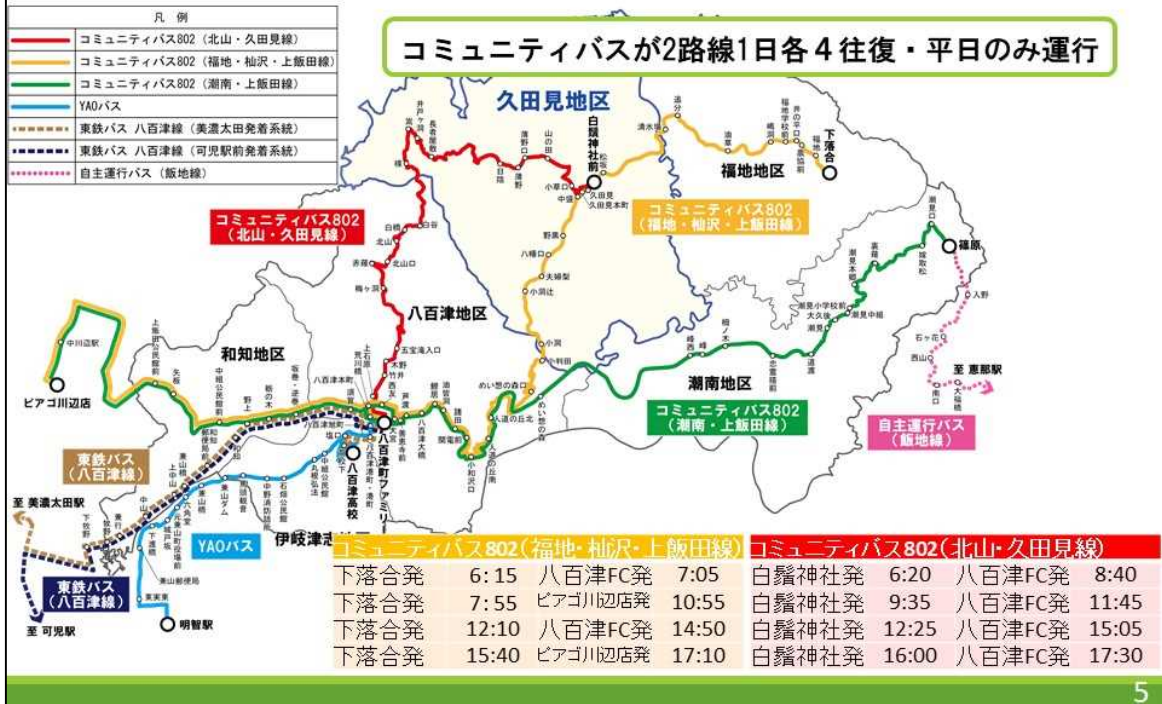
人口密度が低く、高齢化率が高い



⇒公共交通を維持・確保していくため、みんなで知恵を出し合うことが必要

4

地区の公共交通



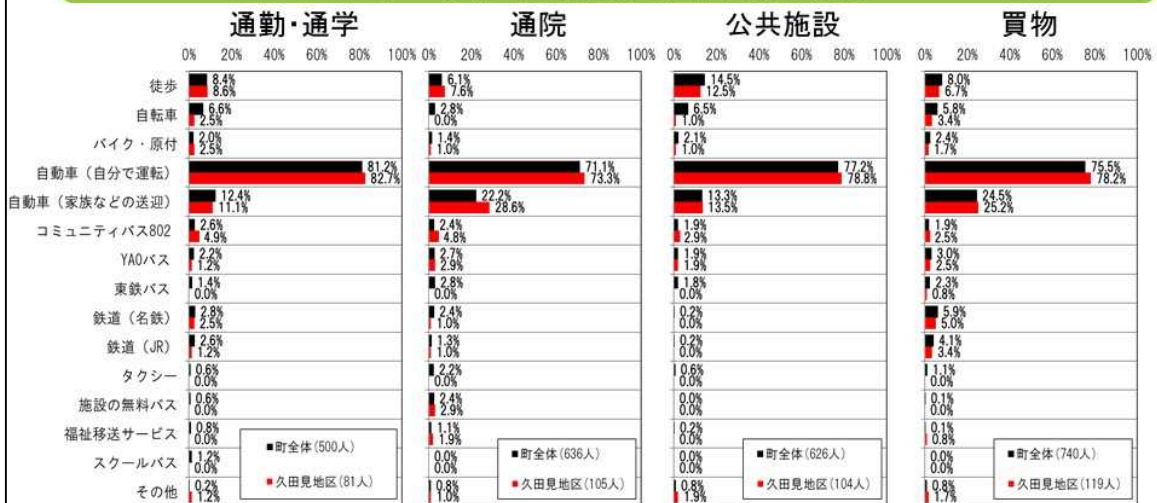
5

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【交通手段】

いずれの目的でも自動車（自分で運転）が70%以上。

コミュニティバスの利用が町全体に比べて多い



⇒公共交通を使ってもらえるようになるには？

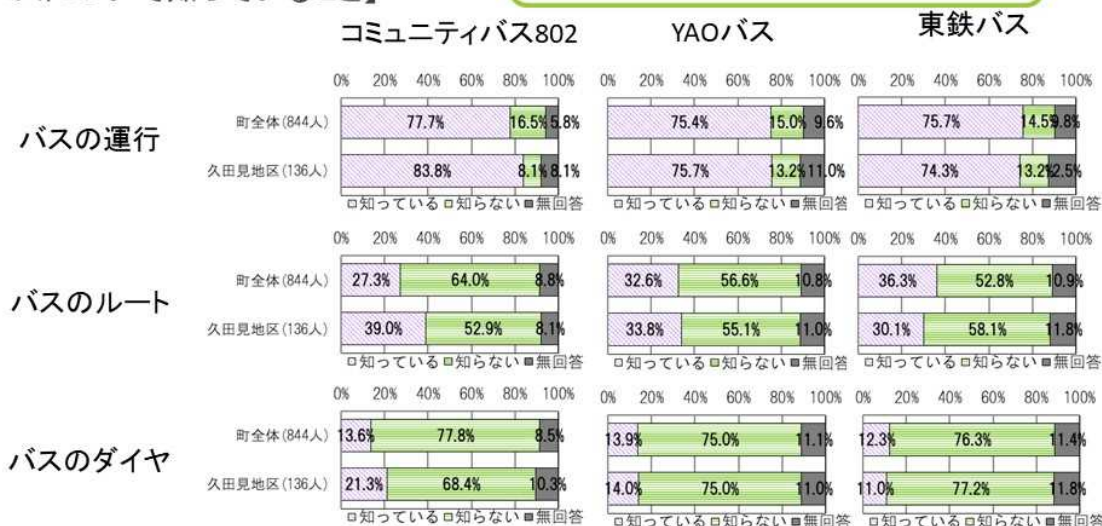
6

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



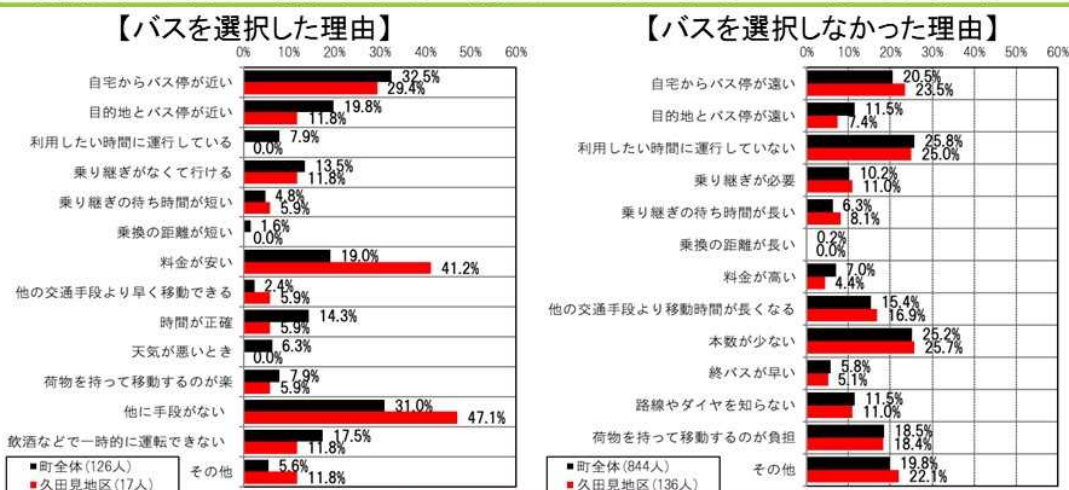
公共交通を知ってもらうには？

7

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「他に手段がない」「料金が安い」が多く
 選択しない理由は「本数が少ない」「利用したい時間がない」「バス停が遠い」が多い



公共交通が利用されるために必要なことは？

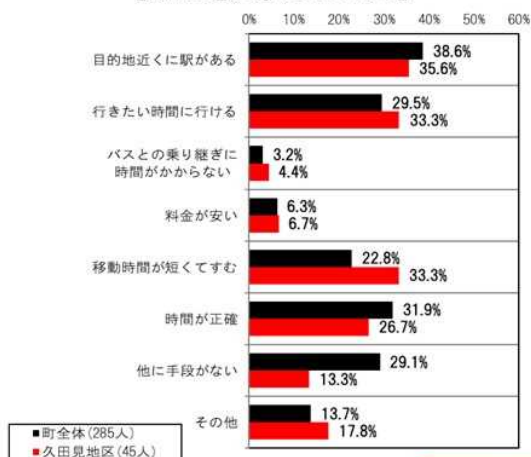
8

移動実態及びニーズの把握結果

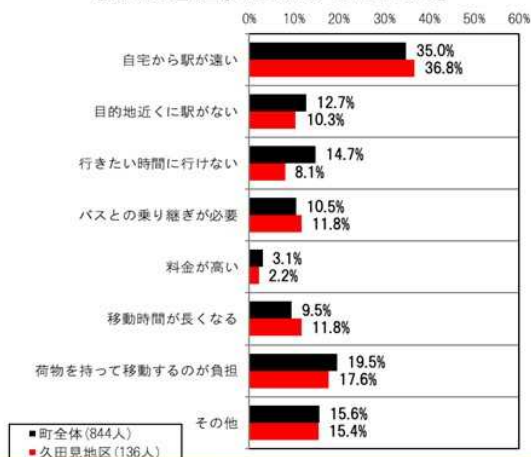
□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

鉄道を選択する理由は「目的地近くに駅がある」「行きたい時間に行ける」等が多く
選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

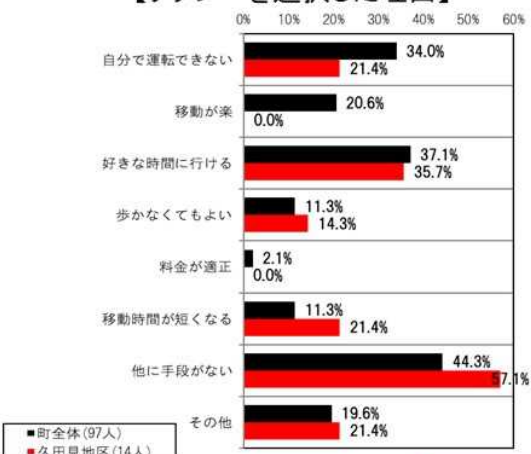
9

移動実態及びニーズの把握結果

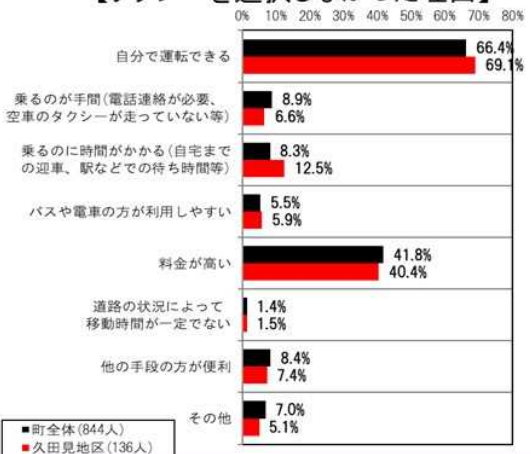
□町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

タクシーを選択する理由は「他に手段がない」「好きな時間に行ける」が多く
選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が安い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



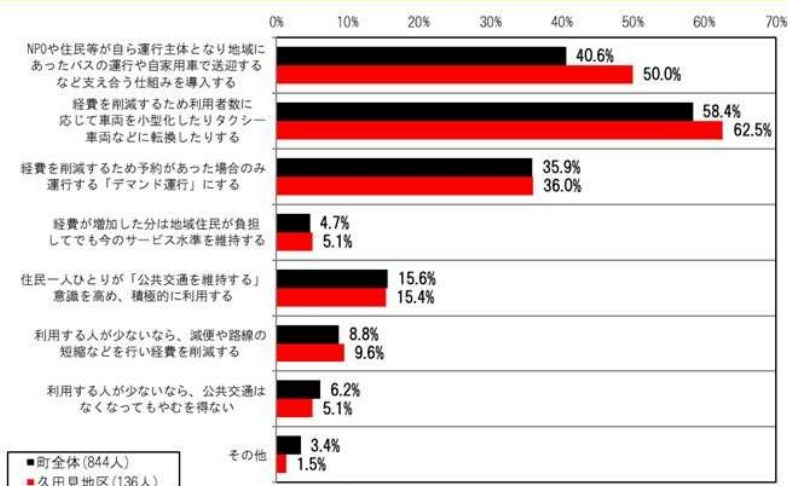
公共交通が利用されるために必要なことは？

10

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

コミュニティバスの北山久田見線は一日11人
福地杣沢上飯田線は一日25人の利用にとどまる

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地杣沢上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
自主運行バス	飯地線	0	—
計		459	91

利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

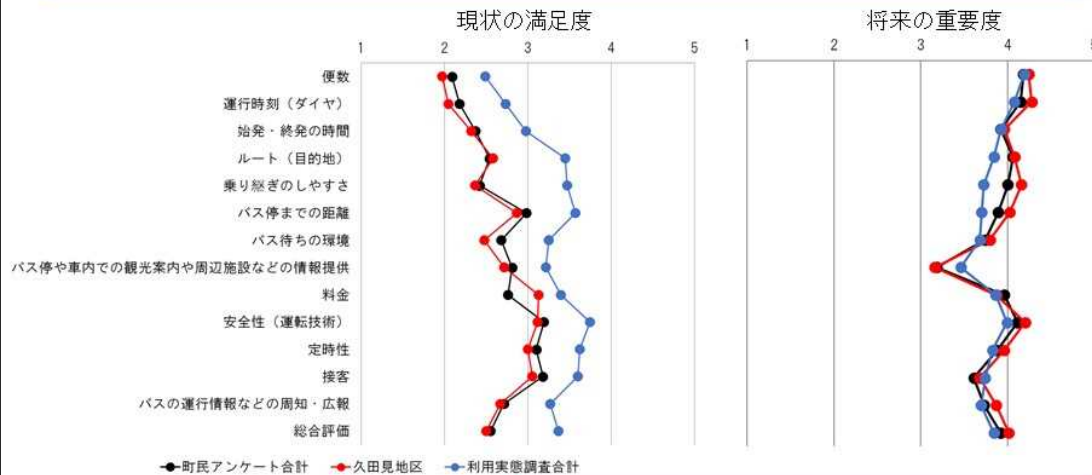
12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い

重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

13

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

14

⑤ 福地地区

公共交通を取り巻く 現状について (福地地区の現状)

1

八百津町の現状

人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



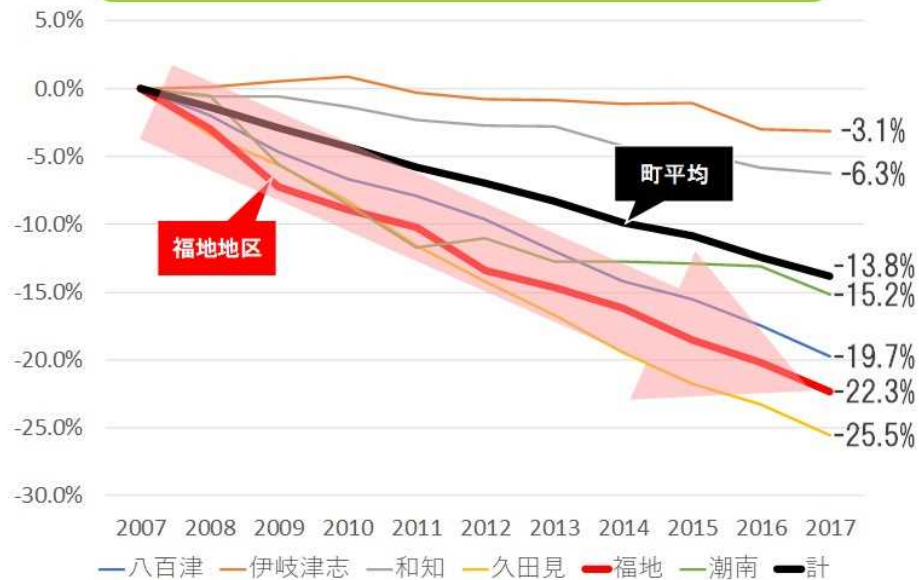
30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

福地地区の現状

□人口

福地地区は町平均より人口が大きく減少している

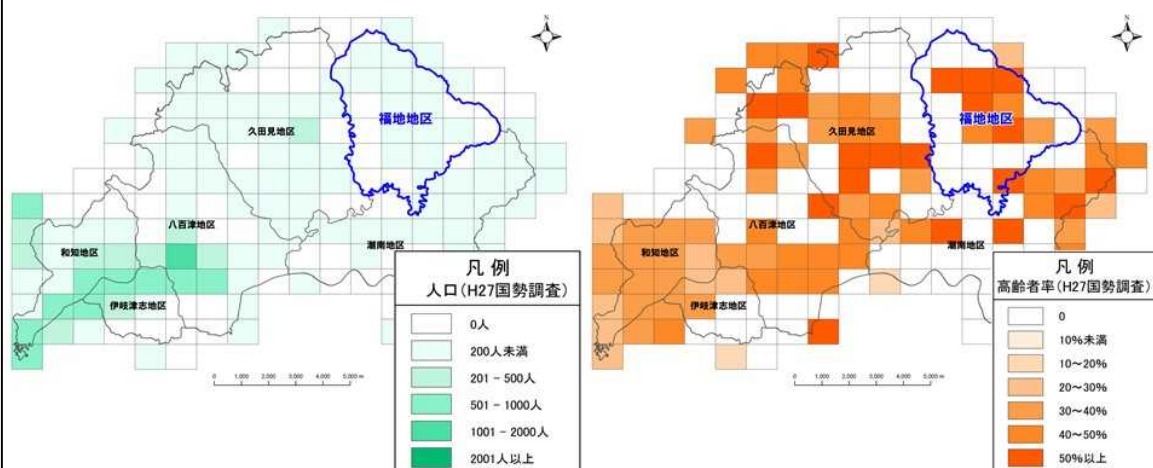


3

福地地区の現状

□人口

人口密度が低く、高齢化率が高い



⇒公共交通を維持・確保していくため、みんなで知恵を出し合うことが必要

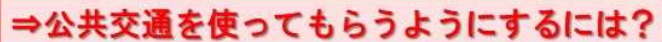
4

コミュニティバスが1路線1日4往復・平日のみ運行



□町民アンケート調査【交通手段】

通勤以外のコミュニティバスの利用が町全体に比べて多い

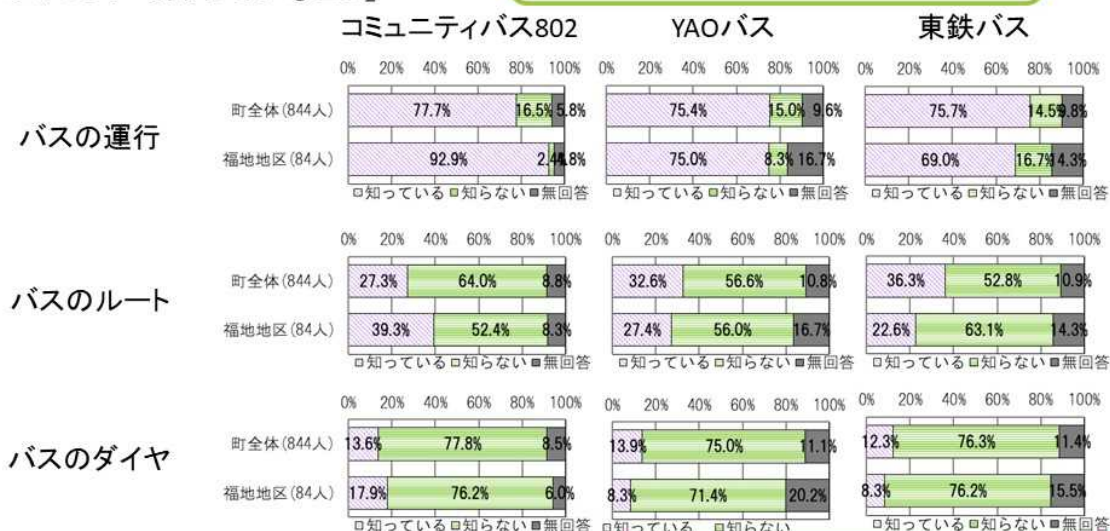


移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



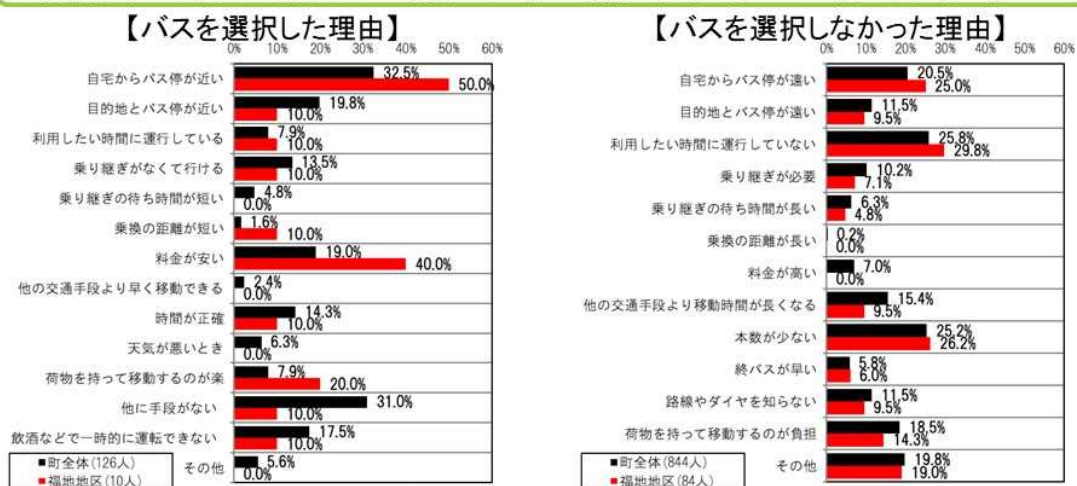
公共交通を知ってもらうには？

7

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「バス停が近い」「料金が安い」が多く
 選択しない理由は「利用したい時間がない」「本数が少ない」「バス停が遠い」が多い



公共交通が利用されるために必要なことは？

8

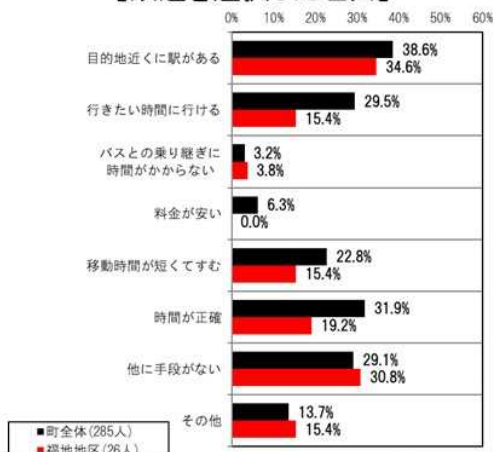
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

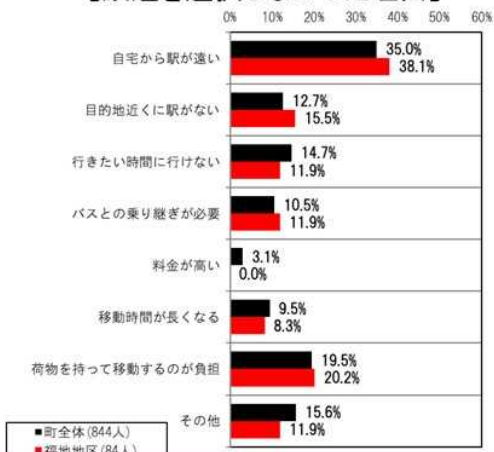
鉄道を選択する理由は「目的地近くに駅がある」「他に手段がない」が多く

選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

9

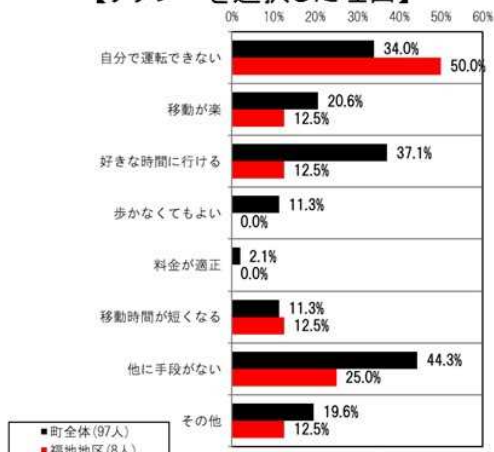
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

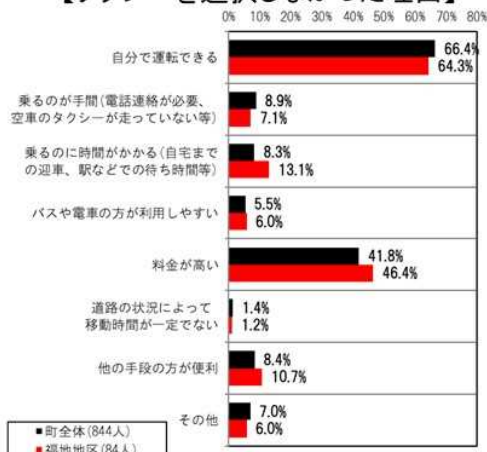
タクシーを選択する理由は「自分で運転できない」「他に手段がない」が多く

選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が安い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



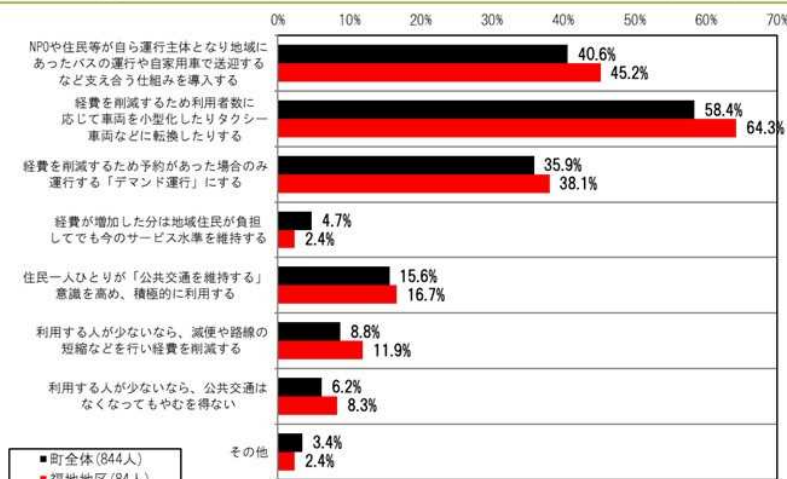
公共交通が利用されるために必要なことは？

10

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

コミュニティバスの福地・上飯田線は一日25人の利用にとどまる

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地・上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
自主運行バス	飯地線	0	—
計		459	91

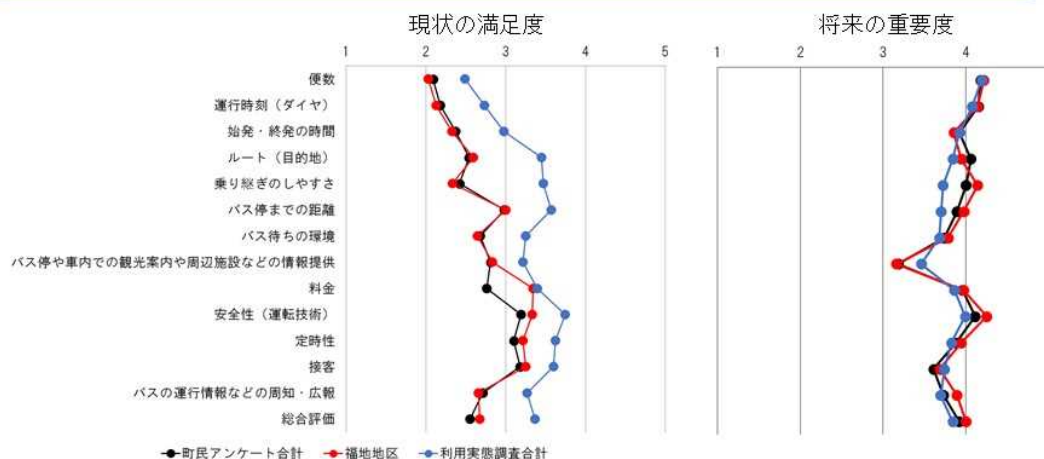
利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い
重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

13

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

14

⑥ 潮南地区

公共交通を取り巻く 現状について (潮南地区の現状)

1

八百津町の現状

人口

人口減少・少子高齢化が進んでおり、
今後もその傾向は続くことが見込まれる



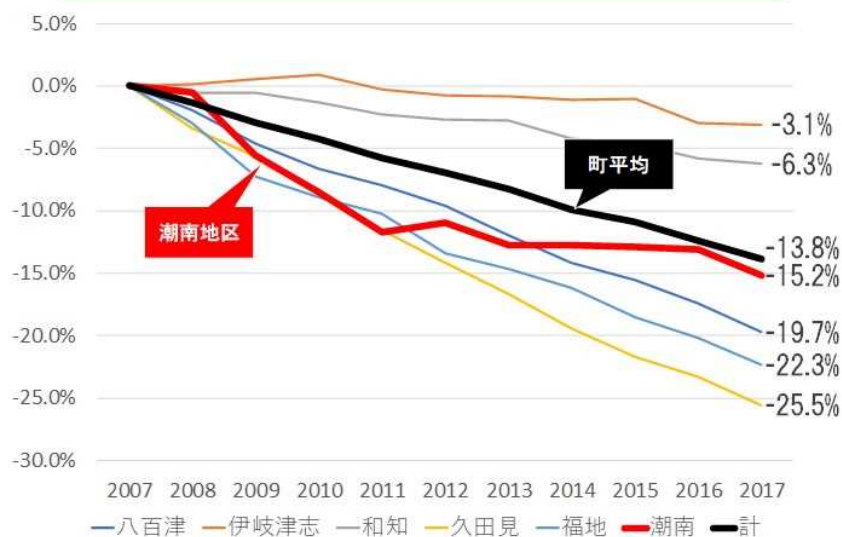
30年後に人口は半減、高齢化率は1.5倍に

2

潮南地区の現状

人口

潮南地区は町平均より人口が減少している

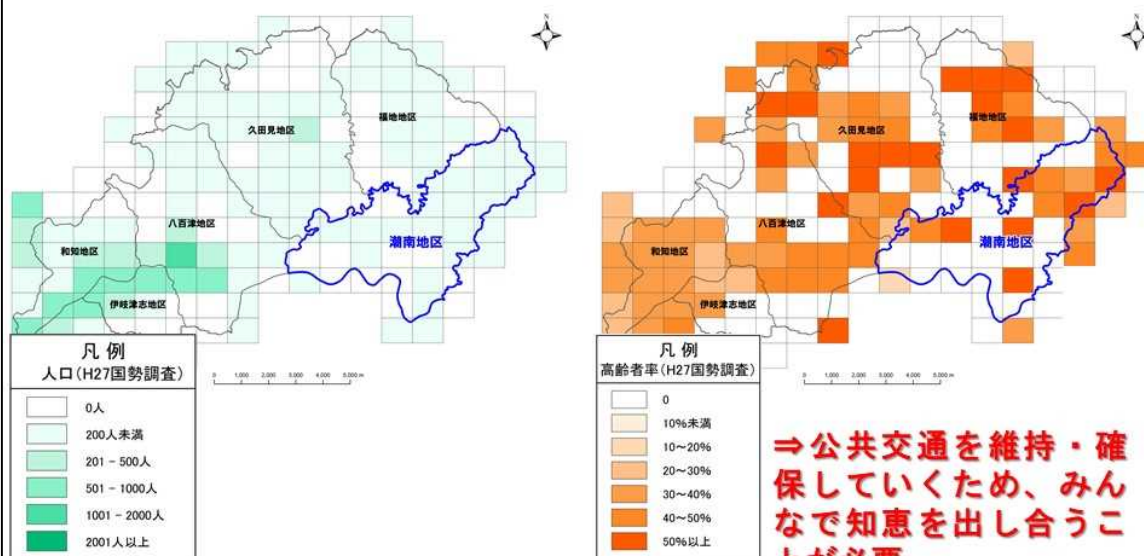


3

潮南地区の現状

人口

人口密度が低く、高齢化率が高い



4

地区の公共交通

凡 例	
—	コミュニティバス802（北山・久田見線）
—	コミュニティバス802（福地・柚沢・上飯田線）
—	コミュニティバス802（潮南・上飯田線）
—	YAQバス
—	東鉄バス 八百津線（美濃太田発着系統）
—	東鉄バス 八百津線（可児駅前発着系統）
—	自主運行バス（飯地線）

コミュニティバスが1路線1日4往復・平日のみ運行
自主運行バス飯地線が1日1往復・平日のみ運行



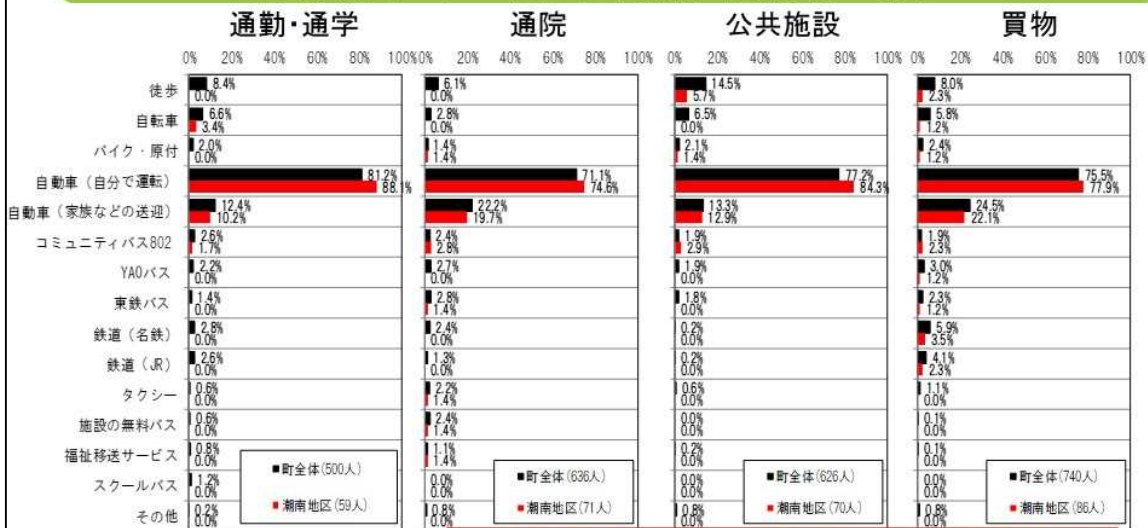
5

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【交通手段】

いずれの目的でも自動車（自分で運転）が70%以上。

通勤以外のコミュニティバスの利用が町全体に比べて多い



⇒公共交通を使ってもらうようにするには？

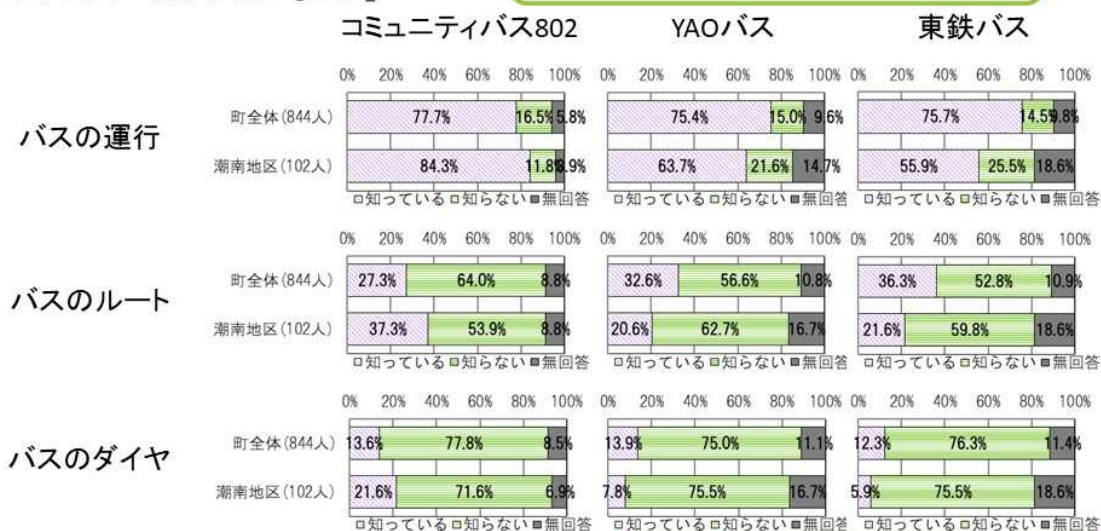
6

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査

【バスについて知っていること】

運行自体は知られているが、詳しい運行の内容を知っている人は少ない



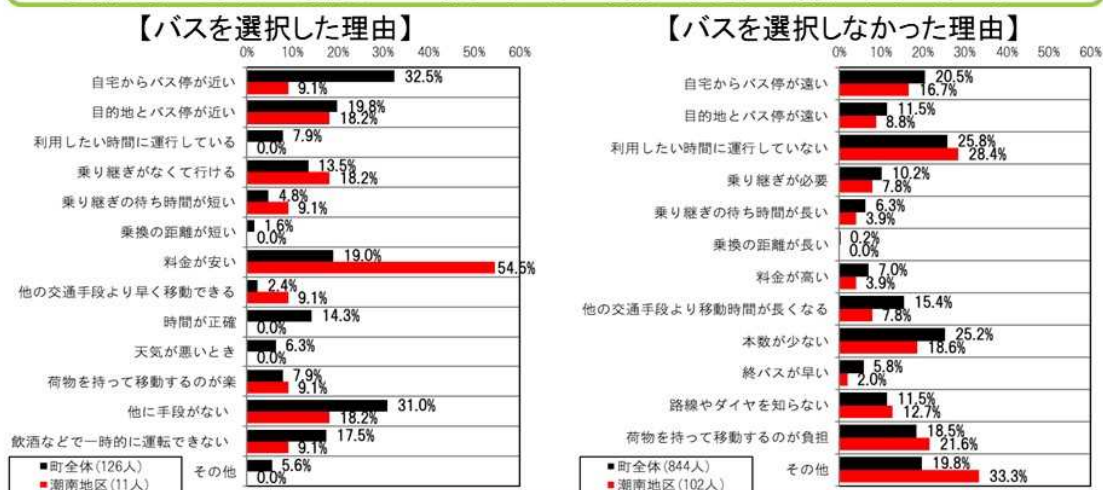
公共交通を知ってもらうには？

7

移動実態及びニーズの把握結果

町民アンケート調査【バスを選択した理由・選択しなかった理由】

バスを選択する理由は「料金が安い」「乗り継ぎがなくても行ける」が多く
 選択しない理由は「利用したい時間がない」「荷物がある」「本数が少ない」が多い



公共交通が利用されるために必要なことは？

8

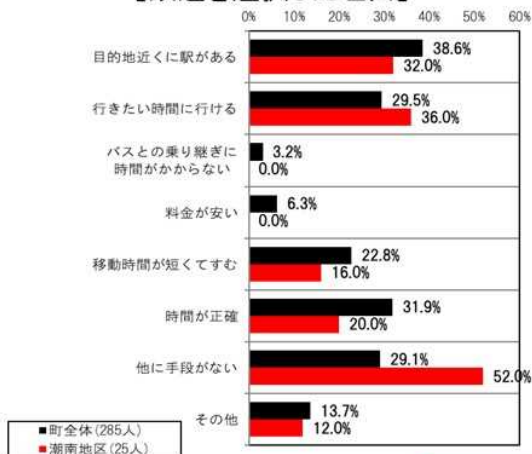
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【鉄道を選択した理由・選択しなかった理由】

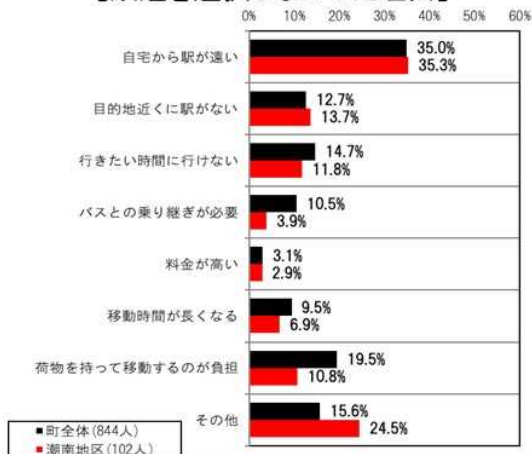
鉄道を選択する理由は「他に手段がない」「行きたい時間に行ける」が多く

選択しない理由は「自宅から駅が遠い」が多い

【鉄道を選択した理由】



【鉄道を選択しなかった理由】



公共交通が利用されるために必要なことは？

9

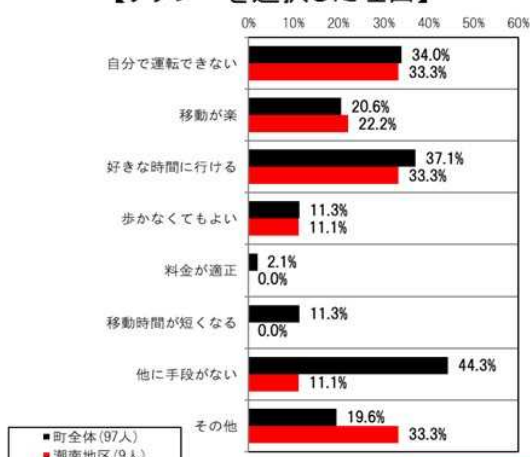
移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【タクシーを選択した理由・選択しなかった理由】

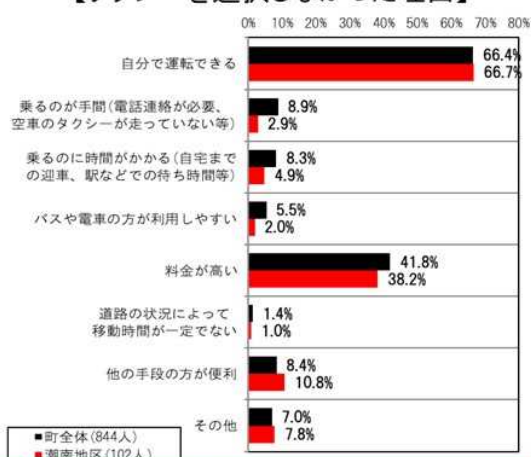
タクシーを選択する理由は「自分で運転できない」「好きな時間に行ける」が多く

選択しない理由は「自分で運転できる」「料金が安い」が多い

【タクシーを選択した理由】



【タクシーを選択しなかった理由】



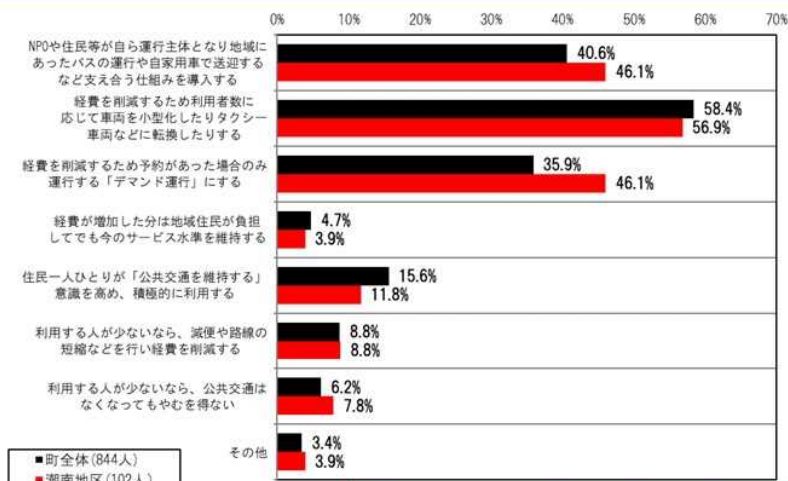
公共交通が利用されるために必要なことは？

10

移動実態及びニーズの把握結果

□町民アンケート調査【公共交通の確保・維持に向けた対策】

経費削減のための車両変更・地域で支える仕組みづくり・デマンド運行等が多い



⇒経費の削減や地域にあった運行形態への転換について地域でできることは？

11

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【OD調査[日利用者数]】

コミュニティバスの潮南上飯田線は一日20人の利用にとどまる
自主運行バス飯地線は利用者はなく、年間でも数人の利用

種別	路線	平日	休日
コミュニティバス 802	北山久田見線	11	—
	潮南上飯田線	20	—
	福地杣沢上飯田線	25	—
YAOバス		330	80
東鉄バス	八百津線可児駅系統	5	—
	八百津線美濃太田系統	58	11
自主運行バス	飯地線	0	—
計		459	91

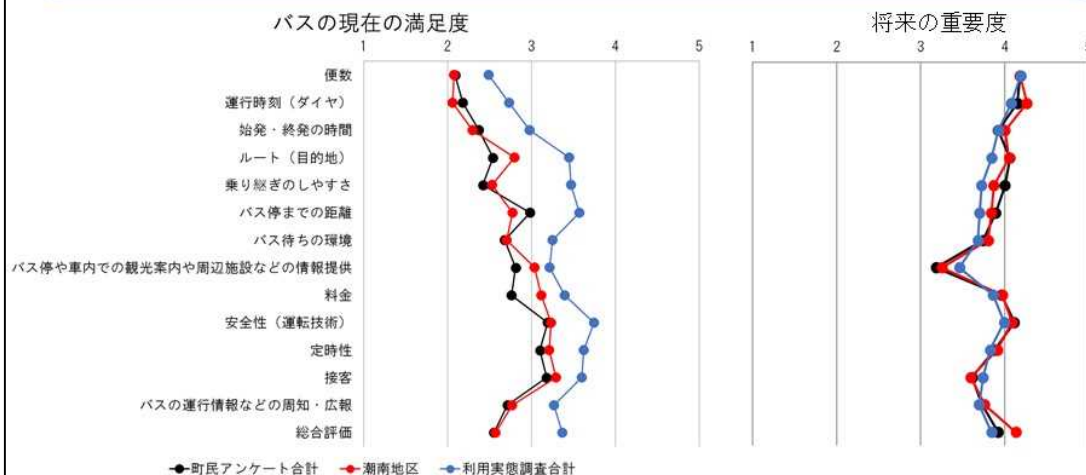
利用者数を増やすには？
利用者数に見合った運行形態にするには？

12

移動実態及びニーズの把握結果

□利用実態調査【利用者アンケート調査[バスの重要度と満足度]】

満足度は町民アンケートより利用者アンケートのほうが大幅に高い
重要度は町民アンケートと利用者アンケートでほぼ同じ傾向



⇒実際にバス利用してもらい、イメージと異なることを体感してもらうには？

13

ワークショップ

テーマ1【公共交通の問題・課題について】

みんなが外出で困っていることを考えよう！

テーマ2【公共交通の維持について】

公共交通を維持するために出来ることを考えよう！

14

(2) 周知

1) 「広報やおつ（平成30年7月号）」での周知



公共交通のあり方について ～各地区で懇談会を開催します～



生活の上で「移動」は欠かせないものですが、人口減少や少子高齢化、マイカーの利用があたりまえとなっている生活スタイルの普及により、公共交通利用者は減少傾向にあります。

これらの公共交通を取り巻く環境の変化をふまえ、町民・交通事業者・町が協働し、地域の実情に即した持続可能な地域公共交通を実現することを目的として、「八百津町地域公共交通網形成計画」を今年度と来年度の2ヶ年に渡って策定します。

6月5日(火)には「第1回八百津町地域公共交通協議会」を開催しました。

計画の策定にあたっては、地域の特性や公共交通の現状、問題点、課題の整理を行い、八百津町地域公共交通協議会において協議を図りながら、計画策定、実行、評価、見直しをくり返し行い、また、住民のみなさまからご意見をお聞きするなどして、計画的な公共交通網の整備に取り組んでいきます。



住民のみなさまからのアンケート結果、バスの乗降調査の結果をふまえて、9月に各地区で懇談会を実施する予定です。多くのみなさまのご参加をよろしくお願いします。

お問い合わせ先 地域振興課 地域振興係 ☎43-2111(内線2253)

広報やおつ No.572 4

2) 町ウェブサイトでの周知

地域振興係

お知らせ

八百津町の公共交通を考える地区懇談会の開催のお知らせ

[お知らせ 一覧へ](#)

八百津町では、町民生活に必要な移動交通手段の課題を解決し、地域のニーズや特性に合わせたより良い移動交通手段の実現に向け、基本計画の策定に取り組んでいます。

この計画の策定にあたり、「移動交通手段の現状や課題、対応策」について、住民のみなさまのご意見を伺うため、地区懇談会を開催します。事前の申込みは不要ですので、お気軽にご参加いただき、みなさまの生の声をぜひお聞かせください。

開催日時・場所

- 平成30年9月11日(火曜日)午後7時00分～9時00分 福地出張所
- 平成30年9月12日(水曜日)午後7時00分～9時00分 潮南出張所
- 平成30年9月13日(木曜日)午後7時00分～9時00分 久田見出張所
- 平成30年9月18日(火曜日)午後7時00分～9時00分 和知出張所
- 平成30年9月19日(水曜日)午後7時00分～9時00分 ファミリーセンター
- 平成30年9月20日(木曜日)午後7時00分～9時00分 錦津コミュニティセンター

※どの会場も午後6時30分受付開始、午後7時開会です。